



## 2022 JCI 淡路 総合資料

踏み出せ！  
決意の一步！

～淡路島の未来をつくる挑戦が今、はじまる～



一般  
社団法人 **淡路青年会議所**  
Junior Chamber International Awaji

# 一般社団法人 淡路青年会議所

## 2021 年度事業報告並びに決算報告書

2021 年度理事長 三浦 義崇

1.	理事長報告	2
2.	副理事長報告	5
3.	専務理事報告	6
4.	諸会議報告	7
5.	委員会事業報告	13
6.	委員会別事業決算明細	27
7.	直前理事長報告	28
8.	出向報告	29
9.	法制顧問報告	37
10.	監事報告	38
11.	会員動向	39
12.	役員名簿	40
13.	出向者一覧	41
14.	組織及び委員会構成	42
15.	褒賞	43
16.	決算報告	44
17.	監査報告	51
18.	資料	52

## 2022 年度事業計画並びに収支予算書

2022 年度理事長 川越 勇輔

1.	理事長所信	72
2.	基本方針	78
3.	副理事長抱負	79
4.	専務理事抱負	80
5.	監事・法制顧問抱負	81
6.	委員長・公室長事業計画並びに予算及び役割業務	83
7.	出向者抱負	95
8.	正味財産増減予算	98
9.	役員名簿	100
10.	出向者一覧	101
11.	組織及び委員会構成	100
12.	年間スケジュール	103
13.	日本 JC 近畿地区兵庫ブロック協議会組織図	104

# 2021年度 事業報告書

2021年1月1日～2021年12月31日

一般社団法人淡路青年会議所

一 般 社 団 法 人  
淡 路 青 年 会 議 所

2021年度 スローガン

新風(しんぷう)を捲(ま)き起(た)こせ!  
~挑戦(てんげん)こそが新しい淡路島(あわじ)と切り拓(ひら)く~

2021年度 基本方針

- 一、 明日の淡路島を創る気概を！
- 一、 調査研究と新しいアイデアを！
- 一、 切磋琢磨と互助の意識を！

# 1. 理事長報告



JCI 淡路の第 59 代理事長という立場を頂き、諸先輩方並びにメンバー、そしてご助力いただいた多くの方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。そして、組織のリーダーとしてミッションやビジョンを示すべき立場ではありましたが、多くの皆様から支えられ、勉強させていただいたという思いを強く感じております。

本年度はスローガンとしまして、「新風を捲き起こせ！～挑戦こそが新しい淡路島を切り拓く～」と掲げさせていただきました。予定者段階から 12 月例会、メイン事業まで短いようで長い 1 年 4 か月でした。また、昨年度に続きコロナ禍の影響も多く、思うように事業ができない、あるいは形を変えないといけないといったもどかしさとの戦いでもありました。そのような中でも例会を 12 回開催でき、研修事業、メイン事業を行えたことは、各担当の委員会の皆様のご尽力の賜物であり、多くのご無理を強いてしまったことに申し訳なかったという思いと感謝しかありません。また、これまで当たり前のようにしてきた JC 活動、JC 運動に対し感謝を感じることができましたし、開催するためにこれまで慣例としてきたことを変更し、ZOOM や新しいことに挑戦できたことは、次代を担う青年会議所メンバーとして新しい一歩になったと思います。これらのことは、大変な中だったからこそ得られたコロナ禍の数少ない良い面だったのではないかと感じております。そして、12 回の例会の他にもいくつかの事業を開催できました。コロナ禍の隙間を利用してにはなりましたが「絆づくり事業 心一つに～団結の力～」を 7 月に開催いたしました。メンバーが絆を深めるべく洲本川レガッタ 2021 実行委員会の皆様のご協力のもとレガッタ体験をさせていただきました。画面越しではなく実際にメンバーを集め、グループに分かれながらも一つのことを皆でできたことが大変うれしく思ったとともに、委員会メンバーが最初から最後まで参加メンバーへ気配りをしていただいたことに感謝したいと思います。開催に対して多くの議論もありましたが、JC 歴の浅いメンバーが増えている現状の中、研修事業は当初より開催したい事業であり、現地で開催でき本当に良かったと思っております。委員会メンバーの皆様本当にありがとうございました。そして、今年度のメイン事業として『2021

年度淡路島未来創造事業 ランディングページ「未来に向けたメッセージ～淡路島一市への軌跡～」』を作成しました。同志社大学の真山教授に監修をいただきながら、淡路島一市に関する疑問等にお応え出来る内容になっていると思います。例年のような多くの人を集めるような事業ではありませんが、コロナ禍の状況下でも実施できる淡路島一市へ向けた事業であり、次へとつなぐことのできるものになればと考えております。多くの日本各地の課題である少子高齢化や過疎化といったマイナス面だけでなく、観光事業や企業の誘致、農作物や漁業関係のブランド化などプラス面も淡路島には多くあります。それらを淡路島島民みんなで解決し、共有していくためには行政としても一つとなる必要があります。今年度の JCI 淡路の活動・運動がその一歩となれば幸いに思います。また、この事業だけでなくここまで準備を頂いた延原委員長をはじめとする淡路島未来創造委員会の皆様本当にありがとうございました。

この一年間、理事長として多くの経験をさせていただきました。全てが当初の予定通りであり、全く後悔なく終わったわけではありません。それでも各委員長が懸命に時間や知恵を使っていたいただき、委員会メンバーの皆様が力を振り絞っていただいたからこそ、一年間が有意義なものになったと思っております。そして、最後になりますが、どのような時でも、常にそばに寄り添い苦楽を共に歩んでいただいた副理事長、専務理事の三役メンバーには心より甚謝申し上げます。この 2021 年度で経験させていただいた全てのことが、私の宝石としていつまでも変わることなく残っていると思います。一年間お世話になった方々に対してあらためて深く感謝申し上げます、理事長報告とさせていただきます。本当にありがとうございました。

## 2. 副 理 事 長 報 告

副理事長

笈屋 千賀

空山 智郎

伊山 真司

川越 勇輔



まず初めに副理事長という大役を頂いたことを、三浦理事長に改めてお礼申し上げます。2021年度は4名の副理事長で、三浦理事長の掲げる「新風を捲き起こせ！～挑戦こそが新しい淡路島を切り拓く～」のスローガンの下、副理事長としてどうするべきかを十分に考え議論し、緻密な事業になるように指導を行いました。しかしながら、本年度も新型コロナウイルス蔓延拡大が継続し、緊急事態宣言が発令されるなどの影響により先の見通しが不透明な中、予定通りに進んだ事業、そうでなかった事業があったことも事実です。我々が今年度、新風を捲き起こすために挑戦し得た経験はJCI淡路の宝として次年度へと引き継がれていくと信じ、今後も伝播してまいります。

最後に、1年間関わっていただいたメンバーの皆様にあらためて感謝申し上げます報告とさせていただきます。

### 3. 専務理事報告

専務理事 横山 泰明



2021年度、組織運営の根幹である専務理事という役職を拝命し、一年間全うすることができました。それも、三浦理事長をはじめ、理事会構成メンバーの皆さま、並びにその下支えをして頂いたメンバーの皆様のおかげであると考えております。

今年度は、昨年度に続き新型コロナウイルス感染症という不測の事態によって、例会のWEB開催や事業の中止など、様々な視点や社会情勢を鑑み判断しなければならない一年だったと思います。専務理事として組織全体を見渡すべく広い視野と、様々なメンバーの想いをくみ取れる度量が必要であったと思います。どこまで専務職を全うできたのかは自分では分かりませんが、このような経験をさせて頂けたと感謝しております。

一年間の活動の中で、理事長、副理事長の皆様をはじめ、常にそばで支えていただいた公室長、実際の議案上程を行う委員長の皆様には多くのご迷惑をおかけした。しかし、私自身、素晴らしい絆と多くの経験を得ることができました。来年度しっかりと淡路JCに対して恩返しすることが、皆様への償いになると思い、より一層のJC活動を行っていきたいと考えます。改めて、皆様への感謝を申し上げ、専務理事として報告とさせていただきます。一年間ありがとうございました。



## 4. 諸 会 議 報 告

### 一般社団法人淡路青年会議所 第16回定時総会

2021年1月13日(水) 於 一般社団法人淡路青年会議所 事務局

正会員 56名【出席 22名 委任状 34通】

- 第1号議案 2020年度 事業報告承認に関する件
- 第2号議案 2020年度 正味財産増減決算報告承認に関する件
- 第3号議案 2021年度 出向者に関する件
- 第4号議案 2021年度 例会開催日程変更に関する件
- 第5号議案 2021年度 正味財産増減修正予算承認に関する件

### 一般社団法人淡路青年会議所 第16回臨時総会

2021年9月21日(火) 於 一般社団法人淡路青年会議所 事務局

正会員 59名【出席 10名 委任状 49通】

- 第1号議案 2021年度 監事退任に関する件
- 第2号議案 2022年度 理事予定者承認に関する件
- 第3号議案 2022年度 監事予定者承認に関する件

### 一般社団法人淡路青年会議所 第17回定時総会

2020年12月8日(水) 於 夢海遊 淡路島 4階 まほろば

正会員 59名【出席 48名 委任状 10通】

- 第1号議案 2021年度 預り金処分に関する件
- 第2号議案 2021年度 例会開催場所変更に関する件
- 第3号議案 2021年度 正味財産増減決算報告承認に関する件
- 第4号議案 2022年度 出向者に関する件
- 第5号議案 2022年度 例会開催日程変更に関する件
- 第6号議案 2022年度 正味財産増減予算に関する件
- 第7号議案 2022年度 事業計画に関する件
- 第8号議案 2022年度 例会総会日時に関する件
- 第9号議案 2022年度 預り金に関する件

## 理事会報告

年月日	内 容	場所
2021. 1. 6	<b>1月理事会</b> 審議事項 (1) 理事長、副理事長及び専務理事選任の件 (2) 2020年度事業報告承認に関する件 (3) 2020年度正味財産増減決算報告承認に関する件 (4) 新入会員配属の件 (5) 準会員承認の件 (6) 2021年度例会開催日程変更に関する件 (7) 2021年度正味財産増減修正予算承認に関する件 (8) 2021年度会費納入の件 (9) 対内広報誌発行の件 (10) 1月例会の件 (11) 第16回定時総会提出議案の件 (12) 第16回定時総会設営の件 (13) 新年挨拶動画配信の件 (14) 会員名簿作成の件 (15) 総合資料作成の件 (16) その他 協議事項 (1) 2月例会の件 (2) LOM役員懇談会の件 (3) 3月例会の件 (4) その他	青年会議所事務局
2021. 2. 3	<b>2月理事会</b> 審議事項 (1) 準会員承認の件 (2) 2月例会の件 (3) LOM役員懇談会設営の件【一部審議】 (4) その他 協議事項 (1) 3月例会の件 (2) 4月例会の件 (3) 第26回わんぱく相撲淡路場所の件 (4) その他	青年会議所事務局
2021. 3. 3	<b>3月理事会</b> 審議事項 (1) 1月例会事業報告並びに決算報告の件 (2) 通常総会の設営事業報告の件 (3) 島民アンケート事業報告並びに決算報告の件 (4) 新年会事業報告並びに決算報告の件 (5) 総合資料作成事業並びに決算報告の件 (6) 3月例会の件 (7) LOM役員懇談会の件 (8) その他	青年会議所事務局

2021. 4. 7	<p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 4月例会の件</li> <li>(2) わんぱく相撲淡路場所の件</li> <li>(3) 5月例会の件</li> <li>(4) その他</li> </ul> <p><b>4月理事会</b></p> <p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 新入会員承認の件</li> <li>(2) 新入会員配属の件</li> <li>(3) 1月例会事業報告並びに決算報告の件</li> <li>(4) わんぱく相撲淡路場所中止の件</li> <li>(5) 2月例会事業報告並びに決算報告の件</li> <li>(6) 会員名簿作成事業報告並びに決算報告の件</li> <li>(7) 4月例会の件</li> <li>(8) その他</li> </ul> <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 5月例会の件</li> <li>(2) 6月例会の件</li> <li>(3) その他</li> </ul>	青年会議所事務局
2021. 5. 6	<p><b>5月理事会</b></p> <p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 新入会員承認の件</li> <li>(2) 新入会員配属の件</li> <li>(3) 準会員承認の件</li> <li>(4) 3月例会事業並びに決算報告の件</li> <li>(5) LOM役員懇談会事業並びに決算報告の件</li> <li>(6) 5月例会の件</li> <li>(7) その他</li> </ul> <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 6月例会の件</li> <li>(2) 絆づくり研修事業の件</li> <li>(3) 7月例会の件</li> <li>(4) 選挙管理委員会設置の件</li> <li>(5) 淡路島未来創造事業の件</li> <li>(6) その他</li> </ul>	ZOOM（リモート）  ZOOM（リモート）
2021. 6. 2	<p><b>6月理事会</b></p> <p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 4月例会事業報告並びに決算報告の件</li> <li>(2) 6月例会の件</li> <li>(3) 選挙管理委員会設置の件</li> <li>(4) 7月例会の件【一部審議】</li> <li>(5) その他</li> </ul> <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 絆づくり研修事業の件</li> <li>(2) 淡路島未来創造事業の件</li> <li>(3) 8月例会の件</li> <li>(4) その他</li> </ul>	ZOOM（リモート）
2021. 7. 7	<p><b>7月理事会</b></p> <p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 5月例会事業報告並びに決算報告の件</li> </ul>	青年会議所事務局

2021. 8. 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>(2) 7月例会の件</li> <li>(3) 絆づくり研修事業の件</li> <li>(4) その他</li> </ul> <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 淡路島未来創造事業の件</li> <li>(2) 8月例会の件</li> <li>(3) 9月例会の件</li> <li>(4) その他</li> </ul> <p><b>8月理事会</b></p> <p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 新入会員承認の件</li> <li>(2) 新入会員配属の件</li> <li>(3) 準会員承認の件</li> <li>(4) 6月例会事業報告並びに決算報告の件</li> <li>(5) 8月例会の件</li> <li>(6) その他</li> </ul> <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 9月例会の件</li> <li>(2) 淡路島未来創造事業の件</li> <li>(3) 10月例会の件</li> <li>(4) その他</li> </ul>	青年会議所事務局
2021. 9. 1	<p><b>9月理事会</b></p> <p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 準会員承認の件</li> <li>(2) 7月例会事業報告並びに決算報告の件</li> <li>(3) 絆づくり研修事業報告並びに決算報告の件</li> <li>(4) 9月例会の件</li> <li>(5) 2021年度監事退任に関する件</li> <li>(6) 2022年度理事予定者承認に関する件</li> <li>(7) 2022年度監事予定者承認に関する件</li> <li>(8) 第16回臨時総会提出議案の件</li> <li>(9) 第16回臨時総会設営の件</li> <li>(10) 淡路島未来創造事業の件</li> <li>(11) その他</li> </ul> <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 10月例会の件</li> <li>(2) 11月例会の件</li> <li>(3) その他</li> </ul>	ZOOM（リモート）
2021. 9. 15	<p><b>第1回臨時理事会</b></p> <p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 2021年度監事退任に関する件</li> <li>(2) 2022年度理事予定者承認に関する件</li> <li>(3) 2022年度監事予定者承認に関する件</li> <li>(4) 第16回臨時総会提出議案の件</li> <li>(5) 第16回臨時総会設営の件</li> <li>(6) その他</li> </ul> <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) その他</li> </ul>	ZOOM（リモート）

2021. 10. 6	<b>10月理事会</b> <b>審議事項</b> (1) 絆づくり研修事業報告並びに決算報告の件 (2) 8月例会事業報告並びに決算報告の件 (3) 第16回臨時総会設営事業報告並びに決算報告の件 (4) 10月例会の件 (5) その他 <b>協議事項</b> (1) 11月例会の件 (2) 12月例会の件 (3) その他	青年会議所事務局
2021. 11. 4	<b>11月理事会</b> <b>報告事項</b> (1) 第17回定時総会設営の件 <b>審議事項</b> (1) 準会員承認の件 (2) 9月例会事業報告並びに決算報告の件 (3) 11月例会の件 (4) その他 <b>協議事項</b> (1) 12月例会の件	青年会議所事務局
2021. 11. 19	<b>第2回臨時理事会</b> <b>審議事項</b> (1) その他 <b>協議事項</b> (1) 淡路島未来創造事業の件 (2) その他	青年会議所事務局
2020. 12. 1	<b>12月理事会</b> <b>報告事項</b> (1) 2021年度褒章委員会設置の件 <b>審議事項</b> (1) 準会員承認の件 (2) 第26回わんぱく相撲淡路場所事業報告並びに決算報告の件 (3) 10月例会事業報告並びに決算報告の件 (4) 11月例会事業報告並びに決算報告の件 (5) 12月例会の件 (6) 2021年度預り金処分の件 (7) 2021年度例会開催場所変更の件 (8) 2021年度正味財産増減決算報告の件 (9) 2022年度組織及び委員会構成の件 (10) 2022年度出向者の件 (11) 2022年度事業計画の件 (12) 2022年度正味財産増減予算の件 (13) 2022年度例会・総会日時の件 (14) 2022年度預り金の件 (15) 第17回定時総会提出議案の件 (16) 第17回定時総会設営の件 (17) 淡路島未来創造事業の件	青年会議所事務局

	(18) その他 協議事項 (1) その他	
--	-----------------------------	--

## 5. 委員会事業報告

理事長公室 公室長 津田 和典



### 委員会スローガン

和 ～共鳴し合う組織へ～

担当	横山 泰明	委員長	津田 和典	副委員長	戸田 敦大
委員	網島 幸治	岩鼻 大輔	田中 昭仁	堀部 泰博	

### 総括報告

まず初めに、2021年度一般社団法人淡路青年会議所の理事として公室長の大役を任命いただきました三浦理事長に心からお礼を申し上げます。

予定者段階で一年間の行動指針となる抱負を作成し、その中で公室長としてまず理事長の秘書的業務及び専務理事の補佐を確実に遂行し、加えて「深い議論のできる場づくり」と「メンバーと積極的に関わること」を心掛け活動を行ってまいりました。結果は全てが満足できる結果ではなく、自分の至らなさやJCI淡路として実施すべき当たり前のことを当たり前に行うことの難しさを改めて認識する一年であったかと思えます。

最後になりましたが、三浦理事長、担当である横山専務理事には様々な場面でご指導、ご鞭撻を頂き本当にありがとうございました。また、一年間サポートを頂きました戸田副公室長をはじめとする公室メンバーの皆様に感謝を申し上げ活動報告とさせていただきます。

委員会報告

年月日	場所	内容	出席者数
2020.10.19	とり久	理事長公室役割分掌の件 その他	5名
2021.5.20	Zoom	7月例会の件 その他	4名
7.9	Zoom	7月例会の件 その他	4名
9.24	Zoom	12月例会の件 その他	3名
11.25	事務局	12月例会の件 その他	4名
12.7	夢海游	12月例会の件 その他	4名

事業報告

年月日	場所	内容	出席者数
2021.7.14	洲本商工会議所	7月例会 ～共につくる。組織の礎～	47名
12.8	夢海游	12月例会～紡ぐ想い。新たなる一歩へ～	46名



# 淡路島未来創造委員会

委員長 延原 直樹



## 委員会スローガン

**明日を変えられる自覚をもって ～生き残る種は、個々の手中にある～**

担当	伊山真司	委員長	延原直樹	副委員長	高田祥平
委員	天羽 一真、岩崎 範寛、大継 康高、木戸 隆一郎、福井 啓太、前川 英亮 南部 真希也				

## 総括報告

### 1. 淡路島一市アンケートについて

新聞折込でのチラシからの FAX とウェブにて、淡路島一市島民アンケートを実施しました。アンケート募集期間は1月6日から22日までの期間で、コロナ禍の中ということもあり、実地収集は避け、新聞や SNS などでの拡散で募集を行いました。短い期間とはいえ、1092 件もの返答があり、淡路島一市合併について賛成が70%を超える結果となりました。自由記述欄には応援の声も非常に多くいただき、大変有意義なアンケート結果になったと思います。また、反対派のご意見としましても、将来的にどうなるかがわからない不明点や不安からの反対の声が非常に色濃く出た結果となりました。広く島民の意見を集めることができました。結果を調査報告書に反映させていただくとともに、今後の活動の指針になればと思います。

### 2. 8月例会について

8月例会としては、1月に実施した淡路島一市島民アンケートの結果をはじめ、これから淡路島がどうなっていくのかを当委員会調査した結果をもとに共有を図るために実施いたしました。大学方式として、教授に扮装した委員会メンバーが、皆さんの前で発表させていただき、講義の最後に内容の共有がしっかりできているか確認テストを実施させていただきました。会場に集まったみな

さんの回答は平均90点近くとなり、メンバー全員が真剣に取り組んでくれた結果となったこと、嬉しく思います。

### 3. メイン事業ランディングページについて

事業の締めくくりとして12月にランディングページの制作を行いました。島民へと淡路島の将来像の提案と持続可能な淡路島を実現するために、多くの方にご賛同いただけるようにと制作させていただきました。同志社大学の政策学部である真山教授監修のもと、これからの淡路島をできるだけ正確に考え、淡路島一市島民アンケートでも見られた不安の声に対する返答などの未来を創造していくためにも、今後の島民の意識改革に少しでも一助となるページに仕上がったのではないかと思います。

### 3. むすび

今回で委員長は3度目となりました。担当副理事長、副委員長をはじめ、委員会メンバーにもたくさん助けていただいた1年となりました。例会設営も、また委員会を開いても、委員会メンバーが率先して動いてくれ、そして迅速に物事が進んでいく様子が、非常に心強く感じました。またそれぞれ遠方や多忙の中、少しでもと参加・協力してくれたおかげで、無事1年を終えることができました。本当に良い委員会に恵まれたと実感しております。

## 委員会報告

年月日	場 所	内 容	出席者数
2020.10.15	事務局		4名
10.18	ZOOM		8名
10.20	ZOOM		6名
11.12	事務局+ZOOM		7名
11.24	事務局+ZOOM		5名
12.05	事務局+ZOOM		5名
2021.01.19	事務局		3名
01.21	事務局		3名
03.17	事務局+ZOOM		7名
03.31	事務局+ZOOM		6名
04.21	事務局+ZOOM		8名
04.28	ZOOM		6名
05.05	ZOOM		6名
05.19	事務局+ZOOM		6名
05.26	事務局+ZOOM		6名
06.30	事務局+ZOOM		6名
07.02	事務局+ZOOM		7名
08.10	事務局+ZOOM		6名
08.11	事務局+ZOOM		6名
10.07	事務局+ZOOM		7名

## 事業報告

年月日	場 所	内 容	出席者数
2021.1. 6	新聞広告・ウェブ	淡路島一市島民アンケート	
8.12	市民交流センター	8月例会	41名
12.4	ホームページ	淡路島一市啓発ランディングページ	33名

## 会員拡大委員会 委員長 濱 健一



### 委員会スローガン

想いを繋ぐ ～拡大意識を胸に～

担当	空山 智郎	委員長	濱 健一	副委員長	伊東 明信
委員	植田 峻正、岸本 有宏、林 祐司、宮本 将史、山本 賢、織田 共子、岡本 和也				

### 総括報告

まず初めに、2021年度一般社団法人淡路青年会議所の理事として会員拡大委員会委員長の役をいただきました三浦理事長に心からお礼を申し上げます。

今年度の会員拡大を担当する委員会として私自身、精一杯邁進してきました。理事長所信の中にもある会員拡大の重要性を踏まえ、予定者段階から会員拡大を行ってまいりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大が収まらず、2月例会は緊急事態宣言下での開催、またわんぱく相撲淡路場所の取り止め、9月例会では感染防止のため事業内容の変更など色々と思いどおりの事業実現ができなかった1年間であったと痛感しました。会員拡大活動を1年間行ってきましたが、やはり一人ではできません、自分の力の無さを感じるとともに委員会メンバーに助けられた1年でありました。この1年間で、多くの新入会員・候補者とメンバーとの時間を共有し、多種多様なメンバーと関わることで、自分自身の成長に繋がりました。最後になりましたが担当でもある空山副理事長には1年間様々な場面でアドバイスをいただき、他の三役関係の皆さまにも多くご指導を賜りました。また1年間ともに活動を行い、委員会を支えていただいた伊東副委員長をはじめとする委員会メンバーに感謝申し上げ、活動報告とさせていただきます。

委員会報告

年月日	場 所	内 容	出席者数
2020.11.27	餃子酒房丈夫-zhangfu-	委員長抱負、年間上程スケジュール、事業計画並びに予算及び役割業務、会員拡大の件	6名
12.19	源平	委員長抱負、会員拡大の件	5名
2021.1.14	チャルラール	2月例会の件、会員拡大の件	4名
2.8	事務局	2月例会リハーサルの件	3名
3.30	チャルラール	わんぱく相撲淡路場所の件、会員拡大の件	5名
5.25	Web上(zoom)	わんぱく相撲淡路場所の件、会員拡大の件	5名
6.30	Web上(zoom)	9月例会の件	3名
7.15	Web上(zoom)	9月例会の件	6名
8.10	炭火焼鳥 kumpai	9月例会の件	5名
9.7	事務局	9月例会リハーサルの件	4名

事業報告

年月日	場 所	内 容	出席者数
2021.2.10	Web上(zoom)	2月例会	38名
9.8	Web上(zoom)	9月例会	48名

## 絆づくり研修委員会 委員長 藤野 雅大



### 委員会スローガン

### 深まる絆が未来をつくる

担当	笈屋 千賀	委員長	藤野 雅大	副委員長	坂本 敏行
委員	絆づくり研修委員会				

### 総括報告

まず始めに 2020 年度一般社団法人淡路青年会議所の理事として絆づくり研修委員会の委員長の大役を任命していただいた三浦理事長に対し、心より感謝申し上げます。

当委員会は『深まる絆が未来をつくる』のスローガンのもとし一年間の委員会活動を行ってまいりました。

今年度は、新年御披露目会を設営すべきところでありましたが、コロナ禍での情勢を鑑み、新年挨拶動画という形として、日頃の感謝をお伝えし、新年挨拶をさせていただきました。また 3 月例会は『砂漠からの脱出ゲーム』、5 月例会では謎解き会社経営をズームと現場のハイブリッド方式で行いました。メンバー間のコミュニケーションを図り団結力が高める一助となったことを実感しております。7 月には、絆づくり研修事業として洲本川レガッタ協会 2021 実行委員会様のご協力のもと『レガッタ』を通してそれぞれが役割を果たしながら呼吸と気持ちを合わせることでメンバー間の絆を深める一助となったことを確信しました。

また 55 年、56 年の卒業生ゴルフコンペも開催させていただきました。洲本ゴルフ倶楽部にて総勢 47 名参加のもと卒業生を盛大に祝福することができました。

新年動画挨拶や例会の企画で、メンバーと夜遅くまで何度も試行錯誤をしながら構想を練り上げたことは本当にかげがえのない時間となりました。また 3 月、5 月の例会前には委員会でゲーム

を体験し、7月の事業には事前に委員会でレガッタを体験し、卒業ゴルフコンペの前には委員会メンバーで打ちっぱなしの練習やコースを回れたことは本当に楽しく委員会の絆を培うものとなりました。この素晴らしいメンバーと巡り会うことができ、絆づくり研修委員会から淡路青年会議所の絆を深める一助となれたことを大変に嬉しく感じます。

最後になりましたが、菅屋副理事長には様々な場面でご指導、ご鞭撻を頂き本当にありがとうございました。また、一年間サポートを頂きました坂本副委員長をはじめとする委員会メンバーの皆様には最後の最後まで支えていただきました。改めて心より感謝を申し上げ、総括報告とさせていただきます。

#### 委員会報告

年月日	場所	内 容	出席者数
2020.10.27	事務局	オリエンテーション、1月新年会、3月例会 5月例会、	6名
11.9	ZOOM	抱負及びスローガン、事業の件	2名
2021. 1. 8	ZOOM]	新年挨拶動画の件	6名
1.11	洲本大浜・ビバホール	新年挨拶動画撮影設営・運営	5名
3. 9	ZOOM	3月例会設営・運営	6名
3.10	事務局	3月例会設営・運営	6名
4.21	ZOOM	5月例会の件の設営・運営	2名
4.28	ZOOM	5月例会の件の設営・運営	6名
5.11	ZOOM	5月例会の件の設営・運営	6名
6. 5	(株)ジャック	絆づくり研修事業の件	3名
9.24	ZOOM	55年.56年会卒業ゴルフコンペの設営の件	7名
10.9	ZOOM	55年.56年会卒業ゴルフコンペの設営の件	3名

#### 事業報告

年月日	場所	内 容	出席者数
2021.1.20	事務局	新年挨拶動画配信	
3.10	事務局、ZOOM	3月例会 ～多人寄れば文殊の知恵～	41名
5.11	事務局、ZOOM	5月例会 ～団結と明確なビジョンで突破口を開こう～	47名
7.25	炬口海水浴場	絆づくり研修事業 心を一つに～団結の力～	30名
10.26	洲本ゴルフ倶楽部	55年 56年会卒業ゴルフコンペ	47名

## 例会委員会 委員長 糸山 秀樹



### 委員会スローガン

**Yes ! We Can. ～チャレンジを肯定し、変化を楽しもう～**

担当	空山 智郎	委員長	糸山 秀樹	副委員長	清水 孝
委員	植野 泰幸、北原 博之、田尾 吏、谷口 優、萩本 雅彦、赤澤 慎一				

### 総括報告

まず初めに、2021 年度一般社団法人淡路青年会議所の理事として例会委員会委員長の役をいただきました三浦理事長に心からお礼を申し上げます。

今年度、事業計画では主に、1 月・4 月・11 月例会の企画・設営及び運営また、1 年を通じて例会の設営及び補助業務を担いました、例会においてはコロナウィルス感染拡大に伴い度々、事業計画の変更を余儀なくされましたが、予定者当初、理事長から頂いた「例会を楽しんでください」の言葉を胸に担当例会のみならず当委員会以外の例会の企画においても理事会の協議・審議のなかで積極的に意見をすることで、毎月の例会が JC の「面白さ」を体感する場となるように努めました。思いのみで、実力の無い自分がこの一年間で、多くの淡路 JC メンバーとの時間を共有し、多種多様なメンバーと関わることで、自分自身の成長を感じることができました。

最後になりましたが、空山副理事長には様々な場面でご指導、ご鞭撻を頂き本当にありがとうございました。また、一年間サポートを頂きました清水福委員長をはじめとする委員会メンバーの皆様には最後の最後までお支えいただきました。改めて感謝を申し上げ、報告とさせていただきます。



委員会報告

年月日	場所	内 容	出席者数
2020.11.18	事務局	1月例会	5名
12.26	事務局	1月例会	5名
2021. 1.11	事務局	1月例会	5名
1.27	事務局	4月例会	5名
2.25	事務局	4月例会	4名
3.23	事務局	4月例会	7名
4. 6	事務局	4月例会	4名
4.10	事務局	4月例会	4名
4.11	事務局	4月例会	4名
4.12	事務局	4月例会	5名
10.19	事務局	11月例会	3名
11.8	事務局	11月例会	3名

事業報告

年月日	場所	内 容	出席者数
2021.1. 13	事務局および zoom	1月例会 未来への言霊	42名
2021.4. 14	事務局および zoom	4月例会 親睦への架け橋	48名
2021.11. 9	洲本商工会議所2 階多目的ホール および zoom	11月例会 今昔の感 ～Yes we did～	41名

## 総務広報委員会 委員長 若林 晋一郎



### 委員会スローガン

### 確かなる歩みに目を向けて

担当	川越 勇輔	委員長	若林 晋一郎	副委員長	森田 俊寛
委員	赤松 栄・萩野 祐樹・増田 裕・村上 正樹・吉田 光佑				

### 総括報告

まず初めに、2021年度一般社団法人淡路青年会議所の理事として総務広報委員長の大役を拝命いただきました三浦理事長に、心から御礼申し上げます。総務広報委員会として広報戦略を担い、年間を通してホームページの管理・運営、毎月の対内広報誌の発刊を行い、対内・対外に向けてJCI淡路の活動を発信してまいりました。今年度は「メンバーの輝く姿の発信」をモットーに委員会に着眼し、毎回行われる委員会の写真を撮り、それを広報誌又はSNSを通じて発信してきました。結果として、ホームページなどに掲載した事業風景に至るまでの各メンバーの頑張りを描写できたように感じました。またLOM役員懇談会の設営、6月、10月例会、各総会の設営も担いました。LOM役員懇談会では練習の徹底を行いブロック協議会との意見交換の場が有意義なものになるよう心掛け、各例会においては、メンバーに楽しんでもらうことを心掛け、講師を呼び勉強会形式にするなどに挑戦しました。様々な事業を通じて成長を感じる一年となりましたが、至らない点もあり、JCI淡路としての基本的なことを勉強する機会が多かったのも事実であり、行動するだけでなく深く考え思考を凝らすことを再認識させてもらえた一年でもありました。

最後になりましたが、川越副理事長には様々な場面でサポートいただき、又ご指導、ご鞭撻もいただき本当にありがとうございました。また森田副委員長をはじめ委員会メンバーには、多くの場面で協力していただき、また共に考え共に活動し、最後の最後までお支えいただきました。その支えのおかげをもって務められたことに改めて感謝申し上げ、活動報告とさせていただきます。

## 委員会報告

年月日	場所	内 容	出席者数
2020.10.9	事務局	抱負スローガン	3名
10.12	事務局	抱負スローガン、年間事業計画並びに予算及び役割業務	3名
10.15	事務局	抱負スローガン、年間事業計画並びに予算及び役割業務、ホームページ管理・運営	8名
10.26	事務局	抱負スローガン、年間事業計画並びに予算及び役割業務、ホームページ管理・運営	3名
11.2	事務局	抱負スローガン、年間事業計画並びに予算及び役割業務 ホームページ管理・運営	4名
11.12	事務局	抱負スローガン、年間事業計画並びに予算及び役割業務、 ホームページ管理・運営	4名
11.16	事務局	抱負スローガン、年間事業計画並びに予算及び役割業務、 ホームページ管理・運営、対内広報誌の発行	4名
11.19	事務局	抱負スローガン、年間事業計画並びに予算及び役割業務、 ホームページ管理・運営、対内広報誌の発行、総合資料作成	5名
12.1	WEB	ホームページ管理・運営、対内広報誌の発行、総合資料作成、 LOM 役員懇談会設営	6名
12.8	事務局	ホームページ管理・運営、対内広報誌の発行、総合資料作成、 LOM 役員懇談会設営、第 16 回通常総会設営	4名
2021.1.7	慶野松原水産	LOM 役員懇談会設営、通常総会設営の決算	8名
1.13	事務局	LOM 役員懇談会設営、通常総会設営の決算、1 月対内広報誌の発行	5名
1.28	事務局	LOM 役員懇談会設営、総合資料作成事業並びに決算報告、 2 月対内広報誌の発行、第 16 回定時総会設営の事業並びに決算	5名
2.24	事務局	LOM 役員懇談会設営、3 月対内広報誌の発行	5名
3.16	事務局	LOM 役員懇談会設営	3名
3.20	事務局	LOM 役員懇談会設営の決算報告、6 月例会、4 月対内広報誌の発行	4名
4.1	日光寺	6 月例会、5 月対内広報誌の発行	4名
4.28	WEB	6 月例会	7名
5.20	日光寺	6 月例会、6 月対内広報誌の発行	7名
6.2	事務局	6 月例会、6 月対内広報誌の発行	4名
6.5	慶野松原水産	6 月例会	4名
6.8	事務局	6 月例会の事業並びに決算、7 月対内広報誌の発行	8名
6.30	日光寺	6 月例会の事業並びに決算、8 月対内広報誌の発行、第	4名
7.21	日光寺	16 回臨時総会設営	5名
8.23	事務局	10 月例会、第 16 回臨時総会設営	3名
8.27	事務局	10 月例会、9 月対内広報誌の発行	4名
9.8	事務局	10 月例会、第 16 回臨時総会設営	4名
9.30	日光寺	10 月例会、10 月対内広報誌の発行、第 16 回臨時総会設営の事業並びに決算	7名
10.4	日光寺	10 月例会、10 月対内広報誌の発行	4名
10.12	事務局	10 月例会	6名

年月日	場所	内 容	出席者数
11.2	事務局	10月例会の事業並びに決算、11月対内広報誌の発行、第17回定時総会設営	3名
11.29	事務局	10月例会の事業並びに決算、12月対内広報誌の発行、褒賞委員会設置、総合資料作成、	5名
12.18	事務局	対内広報誌の事業並びに決算、ホームページ管理・運営の事業並びに決算、総合資料作成、第17回定時総会の事業並びに決算	6名

## 事業報告

年月日	場所	内 容	出席者数
2021.1.13	事務局及びWEB	第16回定時総会	56名
3.22	夢海遊 淡路島	LOM 役員懇談会	17名
6. 9	事務局及びWEB	6月例会 互いを知るは力となる～Are You Ready～	49名
9.21	事務局及びWEB	第16回臨時総会	59名
10.13	事務局及びWEB	10月例会 新たなる可能性を切り拓け～Let's Do It～	49名
12.8	夢海遊 淡路島	第17回定時総会	58名
通年	事務局	JCI 淡路 ホームページ管理・運営	
通年	事務局	JCI 淡路 対内広報誌「JCI AWAJI」発行	



## 7. 直前理事長報告

直前理事長 藤川 龍介



2021 年度一般社団法人淡路青年会議所が無事に終わられました。本年は昨年に引き続き、新型コロナウイルスによる影響を鑑み、試行錯誤を繰り返しながらの一年でした。その中で三浦理事長をはじめとするメンバーの皆さん、本当にお疲れ様でした。そして、私も現役として 7 年、今年度は卒業生でありながら直前理事長として活動させていただきました。私自身、その立場として何をお伝えすべきか悩みもありましたが、先輩諸兄より教わってきたものを自分の経験も踏まえて伝えていくことであると考え、皆様と関りを持ってきました。しかし、経験者が伝えられるものは経験だけであり、正解ではありませんでした。それは今年度も含めた 8 年間の JC 生活の中で感じたものも同じでした。正解は一つだけでなく、数多く存在し、想いを持って考え、行動することで、最後まで本人がやり切った時に正解を手にすることができると。そしてその正解は様々あり、人によってそれぞれ答えが違うものであります。

私は直前理事長の役割を全うできたかはわかりませんが、自分なりの行動ができたものと考えております。その答えを判断するのは自分ではなく自分以外であるので、この先に何か行動をするときには必ず付いてまわるものであると考え、自己満足を決してすることなく、多くの事に挑戦していきたいと思っております。またメンバーの皆様にも何事にも挑戦していただき、様々な結果を手に入れ、多くのチャンスをものにしていただきたいと思っております。最後に、JCI 淡路の設立以来掲げられております「淡路はひとつ」の基本理念の基、「明るい淡路島の実現」に邁進されることを祈念いたしまして、直前理事長報告とさせていただきます。

## 8. 出 向 者 報 告

公益社団法人日本青年会議所

JCプログラム革新委員会 委員 藤井 宏昌



本年度、公益社団法人日本青年会議所 JC プログラム革新委員会に出向させていただきました。国難な時代においてもメンバーの人財育成は、何よりの専決事項であります。同時に日本全国691LOM の課題でもあります。当委員会では人財育成のセミナーを通し、各々の成長の機会と気づきをいただくことができました。また、全国各地のメンバーとも出会えたこと感謝申し上げます。本年度で卒業とはなりますが、この経験を LOM に伝えて参りたい と考えます。このような機会を与えてくださりましたこと、心より感謝申し上げます。

### 出向記録

年月日	場所	内容
2021.1.13	ZOOM	JCプログラム革新委員会
2021.10.15	ZOOM	JCプログラム革新委員会

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区協議会  
総務・広報戦略委員会 委員 植野 泰幸



本年度、公益社団法人日本青年会議所近畿地区協議会、総務広報戦略委員会に出向させていただきました。今年度も昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症防止のため、ZOOMメインの委員会が多く、委員会メンバーとの交流ができない状況ではありました。それでも、近畿地区協議会における議案を拝見することができ、どのような点に着目をし、各地ブロックの財務規則担当者がどれだけ、議案に向けて真剣に取り組んでいるのかを知ることができました。今回の総務広報戦略委員会への出向で得られた知識を来年度のLOM活動でも活かし、議案書へしっかりと向き合えるように精進していきたいと思っております。最後になりますが、このような出向の機会を頂けたことに感謝し、報告と代えさせていただきます。ありがとうございました。

出向記録

年月日	場所	内容
2021.3.12	ZOOM	総務広報戦略委員会
5.13	ZOOM	総務広報戦略委員会
6.28	ZOOM	総務広報戦略委員会
7.23	ZOOM	総務広報戦略委員会
9.23	ZOOM	総務広報戦略委員会
10.21	ZOOM	総務広報戦略委員会



公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会  
日本JC連携推進会議 議員 川越 勇輔



本年度、公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会 日本 JC 連携推進会議へ委員として出向させて頂きました。2020 年に書記長として兵庫ブロック協議会へ出向させて頂き、そこでお世話になった方々に何か恩返しができないかと考えて、三浦理事長に無理を言って出向させて頂きました。三浦理事長には心より感謝申し上げます。

さて、日本 JC 連携推進会議では主に質的価値の追求と兵庫県版 SDGs18 番目のゴールを策定するという担いがあり、第54回ブロック大会丹波大会では羽根拓也氏をお招きし、WEB 上ではありますがフォーラムを開催致しました。私自身、質的価値に関する認識が改められ想いです。今後もこの経験を基に JC 活動に邁進してまいります。

最後になりましたが、PHP 総研が発刊する VOICE7 月号に淡路島の質的価値として日本遺産を含めた「国生みの島・淡路」が掲載されました。また、それに関連したウェビナー「若い力がツナグ地域の未来—質的価値の胎動—」も開催され、快く参画して頂きました三浦理事長に重ねて御礼申し上げます、出向者報告とさせていただきます。ありがとうございました。

#### 出向記録

年月日	場所	内容
2021.1.26	ZOOM	第1回日本 JC 連携推進委員会
2.6	ZOOM	第1回質的価値勉強会
2.26	ZOOM	第2回日本 JC 連携推進委員会
3.7	ZOOM	第3回日本 JC 連携推進委員会
3.26	ZOOM	第2回質的価値勉強会
4.4	ZOOM	第4回日本 JC 連携推進委員会
4.21	ZOOM	第3回質的価値勉強会
5.8	ZOOM	第5回日本 JC 連携推進委員会
6.5	ZOOM	第6回日本 JC 連携推進委員会

年月日	場所	内容
6.27	ZOOM	第7回日本JC連携推進委員会
7.30	ZOOM	第8回日本JC連携推進委員会
8.18	ZOOM	第9回日本JC連携推進委員会
8.22	ZOOM	第10回日本JC連携推進委員会
8.26	丹波	第54回ブロック大会丹波大会
9.5	ZOOM	第11回日本JC連携推進委員会

**公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会  
兵庫の未来創造委員会 委員 糸山 秀樹**



本年、出向させていただきました兵庫ブロック協議会の兵庫の未来創造委員会では、JC カップ U-11 少年少女サッカー全国大会予選大会、兵庫の将来を担う次世代育成事業の設営・運営を行ってまいりました。当初からコロナ禍の影響もあり、全員で集まる機会というのは限られました。そんな中でも、他 LOM の方々と出会い、リモートながらも顔を合わせることができ、委員会で得た経験は自分の見識を広げ、気づきを得るきっかけになったと感じております。このような機会を与えてくださったことに心からの感謝を申し上げ、委員会の出向報告とさせていただきます。

**出向記録**

年月日	場所	内容
2021. 1.16	Zoom	第一回 委員会
2.13	Zoom	第二回 委員会
3.20	Zoom	第三回 委員会
4.17	Zoom	第四回 委員会
5.15	Zoom	第五回 委員会
6.12	Zoom	第六回 委員会
7.10	Zoom	第七回 委員会

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会  
兵庫アカデミー委員会 委員 北原 博之



本年度、近畿地区兵庫ブロック協議会兵庫アカデミー委員会に出向させていただきました。兵庫アカデミー委員会では、すべての委員会がZOOMにて行われコロナ禍での会議体の在り方を学ぶと共に、ブロック内の多くの方と出会い絆を深め、関わることで多くの気づきが有りました。この出向させていただきました1年間での学びや気づきを、今後の活動に活かしていきたいと思っております。このような機会を与えていただきまして、ありがとうございました。

出向記録

年月日	場所	内容
2021.01.16	Zoom	講演(社業とJCの両立について)
02.05	Zoom	小委員会
	Zoom	コンセンサスゲーム

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会  
兵庫アカデミー委員会 委員 戸田 敦大



本年度、近畿地区兵庫ブロック協議会アカデミー委員会に出向させていただきました。コロナ禍の影響により一つの場所に集まり直接顔を合わせる機会には恵まれませんでしたが、webを通じ兵庫県より集まった各LOMメンバーと事業や研修で交流することで、自LOMとは違った刺激を得ることができ、そこから自分の見識を広げ多くの気づきを得ることができました。このような素晴らしい機会をいただけたことに感謝致します。本年の出向の経験を活かし、今後の自LOMでの活動に微力ながらも貢献できるよう努めます。

### 出向記録

年月日	場所	内容
2021.01.16	Zoom	講演(社業とJCの両立について)
02.05	Zoom	小委員会
	Zoom	コンセンサスゲーム

### 公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会 JC運動発信委員会 委員 若林 晋一郎



本年度、近畿地区兵庫ブロック協議会 JC 運動発信委員会に出向させていただきました。委員会では、兵庫ブロックの各種運動を対外へ発信することを目的に活動しました。当初より新型コロナ禍の影響もあり、ほとんどがWEBにて委員会を行い、全員が集まる機会がほとんどない中で、それぞれが創意工夫を熟し発信に力を入れました。また兵庫県知事選挙が行われた際には、若者に選挙に行ってもらおうよう取り組み、YOUTUBEにて配信をするなど活発に活動してきました。一年を通して対応力や企画力を勉強させてもらえました。このことを、これからのJC活動に取り組みに活かしていきたいと思っております。最後になりましたが、1年間このような機会をいただき出向させていただいたことに心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

### 出向記録

年月日	場所	内容
2020.11.23	ANA クラウンプラザホテル	委員会(予定者)
2021.1.28	オンライン	第1回 委員会
2.6	オンライン	第2回 委員会
3.13	オンライン	第3回 委員会
4.27	オンライン	第4回 委員会
5.26	オンライン	第5回 委員会
6.19	オンライン	委員会事業【兵庫県知事選挙ネット討論会】
6.22	オンライン	第6回 委員会

年月日	場所	内容
7.21	オンライン	第7回委員会
8.24	オンライン	第8回委員会
9.22	オンライン	第9回委員会
10.26	オンライン	第10回委員会

**公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会  
ブロック大会運営委員会 委員 木戸 隆一郎**



本年度、近畿地区兵庫ブロック協議会ブロック大会委員会に出向させて頂きました。委員会では、兵庫ブロック丹波大会の企画・運営が主な役割でした。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、当日はオンラインでの開催となりましたが、企画、運営段階での各 LOM から出向している他の委員皆様の企画力や対応力など学ばせていただきました。このような経験を、これからの JC 活動の取り組み方や考え方などに活かしてけるよう日々精進してまいりたいと思います。最後になりましたが、1 年間出向させて頂いたことを心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

出向記録

年月日	場所	内容
2021.11.23	ANA クラウンプラザホテル	委員会(予定者)
12.20	オンライン	委員会
5.20	オンライン	小委員会
5.23	オンライン	委員会
2021.8.29	オンライン	委員会

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会  
財務規則審査会議 議員 萩野 祐樹



本年度、兵庫ブロック財務規則審査会議に出向させていただきました。

役割としては、兵庫ブロックで行われる事業の議案を財務・コンプライアンスの観点から審査させていただきました。昨年度は書記団として兵庫ブロックに出向させていただき、財務規則審査会議メンバーの姿を見ていましたが、議案を審査するにあたり勉強会でこの財務規則審査会議の重要性を改めて感じました。本年度、zoomでの開催がほとんどとなってしまいましたが、貴重な機会をいただきましたことに感謝を申し上げ、出向の報告とさせていただきます。

出向記録

年月日	場所	内容
2021.1.15	ZOOM	第4回財務規則審査会議
1.30	ZOOM	勉強会
2.15	ZOOM	第5回財務規則審査会議
2.19	ZOOM	第2回臨時財務規則審査会議
3.9	ZOOM	第6回財務規則審査会議
4.5	ZOOM	第7回財務規則審査会議
4.9	ZOOM	第3回臨時財務規則審査会議
5.7	ZOOM	第8回財務規則審査会議

## 9. 法制顧問報告

法制顧問 時枝 弘記



まずは今年度、三浦理事長から法制顧問として任命していただきありがとうございました。昨年同様コロナ禍という状況の中で例会が通常通りの形で行えなかったり、事業においても縮小や変更をしながら行わなければならず大変な苦労があったと思います。私自身これまでの経験を活かし助言することを心掛けましたが、計画通りに全ての事業が行えなかったことは反省しかございません。その中でも2021年度スローガン「新風を捲き起こせ！～挑戦こそが新しい淡路島を切り拓く～」にあるように、切り拓くことの難しさを改めて感じた一年でもありました。それは理事会メンバーは皆が感じたことではないかと思います。その時間を共有できたことは非常に良いことでありましたが、目的を共有しきれなかったことには悔いが残ります。自身の課題として今後取り組みたいと思います。

最後になりましたが、活動を止めることなくよりよい社会の実現に向けメンバー一丸となって邁進していくことに、今後も協力させていただくことをここにお誓いし法制顧問報告とさせていただきます。一年間ありがとうございました。

## 10. 監事報告

**監事**

**岸本 篤人**



**藤井 宏昌**



2021年度は、感染症の影響が続く中、どのようにして事業を円滑に進められるのか、新たな試みや対応など、そういった点にも意識を置きながら、理事会において議論されるべきところがなされているのか、各事業が目的に沿っているのか、また予算の執行は的確に行われているのかをしっかりと確認させていただきました。そして、これまで培ってきた経験や知識を可能な限り皆様にお伝えするとともに、客観的な視点から意見を述べさせていただきました。メンバーの皆様、特に委員長の皆様本当に一年間お疲れ様でした。最後になりますが、一般社団法人淡路青年会議所メンバーが何事にも恐れず挑戦し、淡路島の未来のために邁進していただきますようご祈念申し上げ、監事報告とさせていただきます。一年間ありがとうございました。



# 11. 会 員 動 行

## 1. 2021 年度末 会員数

正会員 57 人                  特別会員 334 人

## 2. 2021 年度 入会者

新入会者名	推薦者		
岡本 和也	濱 健一	若林 晋一郎	横山 泰明
織田 共子	濱 健一	川越 勇輔	横山 泰明
原 亜里沙	川越 勇輔	植野 泰幸	津田 和典
福井 啓太	濱 健一	伊山 真司	横山 泰幸
松井 修平	濱 健一	若林 晋一郎	横山 泰幸

## 3. 2021 年度 会員数

正会員 56 名                  特別会員 345 人

## 4. 2021 年度 退会者

田中 康晴 松井 修平

## 5. 2021 年度 休会者

なし

## 6. 2021 年 物故会員

武田 洋志 明石 和男 庄田 量次

## 7. 2021 年度 除名者

なし

## 8. 2021 年度 卒業会員

糸山 秀樹 岩崎 範寛 大坂 章仁 北原 博之 空山 智郎 時枝 弘記  
苫屋 千賀 延原 直樹 萩野 祐樹 藤井 宏昌 村上 正樹

## 9. 2021 年度 役員選考委員

川越 勇輔 伊山 真司 植野 泰幸 木戸 隆一郎 横山 泰明

## 1 2 . 2021 年度(一社)法人淡路青年会議所役員名簿

理 事 長	三 浦	義 崇
直前理事長	藤 川	龍 介
法 制 顧 問	時 枝	弘 記
監 事	藤 井	宏 昌
	岸 本	篤 人
副 理 事 長	筈 屋	千 賀
	空 山	智 郎
	伊 山	真 司
	川 越	勇 輔
専 務 理 事	横 山	泰 明
出 向 理 事	植 野	泰 幸
	木 戸	隆 一 郎
理 事	津 田	和 典
理 事	延 原	直 樹
理 事	濱	健 一
理 事	藤 野	雅 大
理 事	糸 山	秀 樹
理 事	若 林	晋 一 郎

### 13. 出向者 一覧

#### 公益社団法人日本青年会議所

出向先	役職	出向者氏名
JCプログラム革新委員会	委員	藤井 宏昌

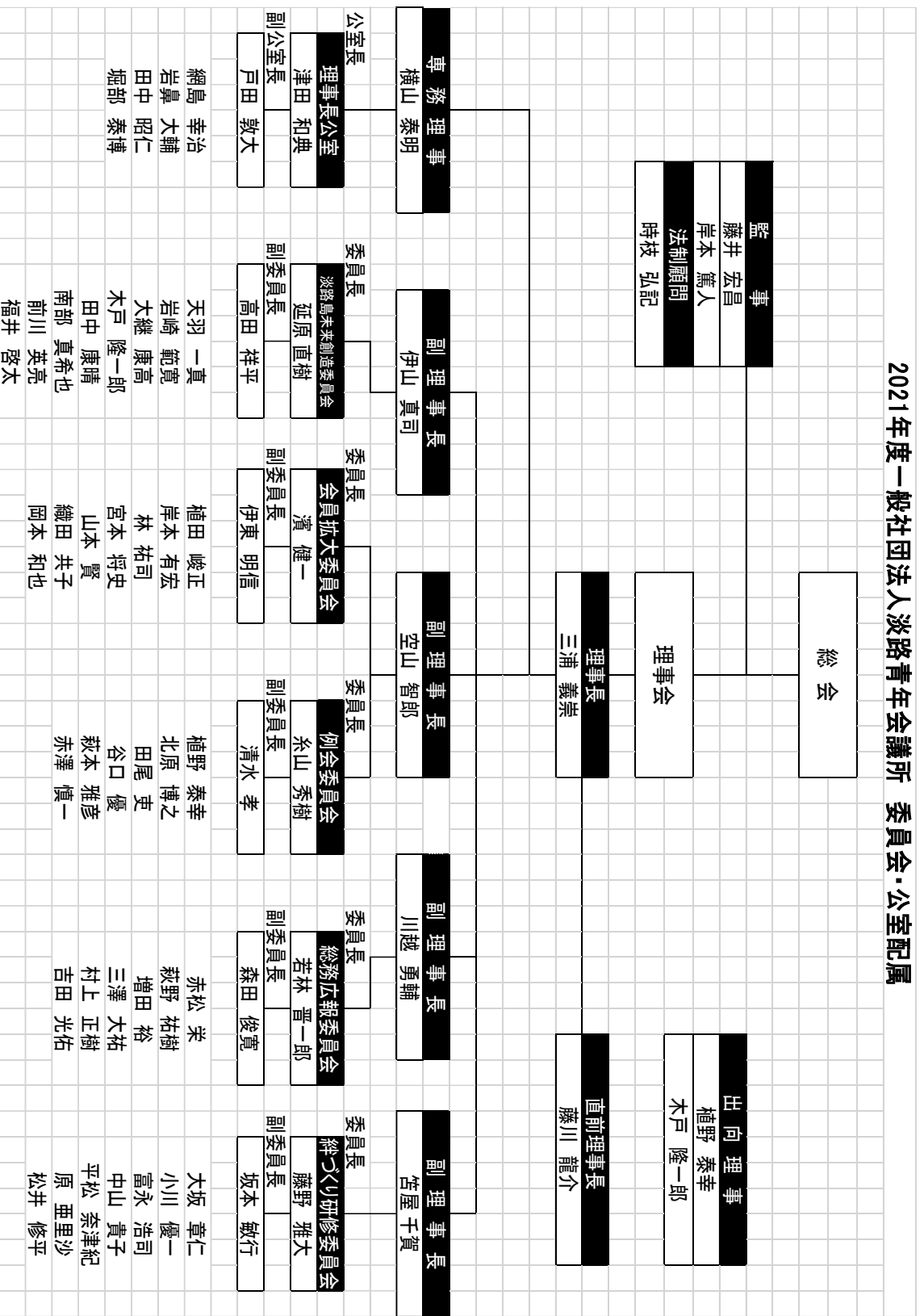
#### 公益社団法人日本青年会議所 近畿地区協議会

出向先	役職	出向者氏名
総務・広報戦略委員会	委員	植野 泰幸

#### 兵庫ブロック協議会

出向先	役職	出向者氏名
日本JC連携推進会議	議員	川越 勇輔
兵庫の未来創造委員会	委員	糸山 秀樹
兵庫アカデミー委員会	委員	北原 博之
	委員	戸田 敦大
JC運動発信委員会	委員	若林晋一郎
ブロック大会運営委員会	委員	木戸隆一郎
財務規則審査会議	議員	萩野 祐樹

2021年度一般社団法人澁路青年会議所 委員会・公室配属



14. 組織及び委員会構成

## 15. 褒章

### 褒章委員会

三浦 義崇 理事長      時枝 弘記 法制顧問  
 岸本 篤人 監事      藤井 宏昌 監事  
 苫屋 千賀 副理事長      伊山 真司 副理事長  
 川越 勇輔 副理事長      空山 智郎 副理事長  
 横山 泰明 専務理事

1. 最優秀委員会賞      総務広報委員会
2. 優秀委員会賞      絆づくり研修委員会
3. 最優秀事業賞      淡路島未来創造委員会  
淡路島一市啓発ランディングページ事業
4. 最優秀会員賞      森田 俊寛      (総務広報委員会)
5. 優秀会員賞      高田 祥平      (会員拡大委員会)
6. 最優秀新会員賞      赤澤 慎一      (例会委員会)
7. 優秀新会員賞      原 亜里沙      (絆づくり研修委員会)
8. 特別功労賞      時枝 弘記      藤井 宏昌
9. 出向者出席奨励賞      萩野 祐樹      木戸 隆一郎
10. 例会出席奨励賞      赤澤 慎一      天羽 一真      糸山 秀樹      伊山 真司  
 小川 優一      川越 勇輔      岸本 篤人      木戸 隆一郎  
 坂本 敏行      空山 智郎      高田 祥平      津田 和典  
 時枝 弘記      戸田 敦大      苫屋 千賀      延原 直樹  
 萩野 祐樹      濱 健一      藤井 宏昌      藤野 雅大  
 増田 裕      三浦 義崇      森田 俊寛      横山 泰明  
 若林 晋一郎      25 名
11. 卒業生感謝状      糸山 秀樹      岩崎 範寛      大坂 章仁      岸本 篤人  
 北原 博之      空山 智郎      時枝 弘記      苫屋 千賀  
 延原 直樹      萩野 祐樹      藤井 宏昌      村上 正樹

12 名

# 16. 決算報告

## 貸借対照表

令和3年12月31日現在

(単位:円)

科目	決算	
<b>I 資産の部</b>		
1. 流動資産		
現金預金	11,580,831	
未収金		
前渡金		
立替金		
保管保証金		
流動資産合計	11,580,831	
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
基本財産合計		
(2) 特定財産		
特定財産合計		
(3) その他固定資産		
什器備品	321,724	
有価証券	10,000	
敷金		
その他固定資産合計	331,724	
資産合計	11,912,555	
<b>II 負債の部</b>		
1. 流動負債		
流動負債合計		
2. 固定負債		
固定負債合計		
負債合計		
<b>III 正味財産の部</b>		
1. 指定正味財産		
指定正味財産合計		
2. 一般正味財産		
(うち基本財産への充当額)		
(うち特定財産への充当額)		
一般正味財産合計	11,912,555	
負債及び正味財産合計	11,912,555	

正味財産増減決算書(案)

令和3年1月1日から令和3年12月31日まで

科 目	決算額	補正予算額	修正予算額	予算額	決算額	予算額	備考
	R3.1.1~R3.12.31 (12ヶ月分)	R3.1.1~R3.12.31 (12ヶ月分)	R3.1.1~R3.12.31 (12ヶ月分)	R3.1.1~R3.12.31 (12ヶ月分)	R2.1.1~R2.12.31 (12ヶ月分)	R2.1.1~R2.12.31 (12ヶ月分)	
I 一般正味財産増減の部							
1.経常増減の部							
(1)経常収益							
①受取入金	250,000	200,000	50,000	0	550,000	0	5名×¥50,000
②受取会費	9,390,000	9,310,000	9,150,000	9,070,000	6,900,000	8,820,000	
正会員受取会費	9,120,000	9,040,000	8,880,000	8,800,000	6,720,000	8,640,000	54名×¥160,000 6名×¥80,000
その他受取会費	270,000	270,000	270,000	270,000	180,000	180,000	卒業生9名×¥30,000
③事業収益	0	0	0	0	1,995,000	0	
受託事業収益	0	0	0	0	0	0	
登録料	0	0	0	0	1,755,000	0	
その他事業収益	0	0	0	0	240,000	0	
④受取負担金	0	0	0	0	0	0	
⑤寄付金	1,020,000	0	0	0	330,000	0	
⑥雑収益	7,900	500	500	500	206,337	600	
受取利息	92	500	500	500	86	600	
配当金	400	0	0	0	400	0	
雑収益	7,408	0	0	0	205,851	0	
経常収益計	10,667,900	9,510,500	9,200,500	9,070,500	9,981,337	8,820,600	
(2)経常費用							
①事業費							
給料手当					0		
福利厚生費					0		
会議費 賃借料	195,950	1,078,295	1,078,295	1,078,295	149,150	798,636	
消耗品費	161,358	286,256	286,256	286,256	443,200	471,976	
レンタル料	255,000	0	0	0	0	0	
食糧費	5,760	18,000	18,000	18,000	0	230,000	
人件費	0	0	0	0	0	0	
支払手数料	200,000	30,000	30,000	30,000	185,000	352,000	
講師関係費	6,800	433,300	433,300	433,300	6,460	455,000	
謝礼金	80,000	540,000	540,000	540,000	0	530,000	
資料作成費	1,015,985	545,485	545,485	545,485	594,550	325,485	
広告普及費	97,366	601,000	601,000	601,000	49,500	382,000	
報告書作成費	794,200	790,990	790,990	790,990	990	990	
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	
交際費	0	0	0	0	1,755,000	0	
保険料	10,000	25,000	25,000	25,000	5,810	68,000	
印刷製本費	347,886	347,886	347,886	347,886	335,000	765,000	
通信運搬費	19,650	31,288	31,288	31,288	26,609	42,428	
支払負担金	0	10,000	10,000	10,000	0	24,000	
雑費	1,760	109,500	109,500	109,500	27,572	93,985	
事業費計	3,191,715	4,847,000	4,847,000	4,847,000	3,578,841	4,539,500	

科 目	決算額	補正予算額	修正予算額	予算額	決算額	予算額	備考
	R3.1.1~R3.12.31	R3.1.1~R3.12.31	R3.1.1~R3.12.31	R3.1.1~R3.12.31	R2.1.1~R2.12.31	R2.1.1~R2.12.31	
	(12ヶ月分)	(12ヶ月分)	(12ヶ月分)	(12ヶ月分)	(12ヶ月分)	(12ヶ月分)	
②管理費							
会議費	5,500	0	0	0	0	0	
給料手当	1,049,546	980,000	980,000	980,000	979,875	980,000	
退職給付引当金	0	0	0	0		0	
福利厚生費	127,583	150,000	150,000	150,000	116,481	150,000	交通費・雇用保険料
渉外費	178,377	300,000	300,000	300,000	463,050	300,000	各種登録¥78,000+褒賞¥60,000
慶弔費	26,500	150,000	150,000	150,000	42,000	150,000	
減価償却費	264,632	100,000	100,000	100,000	70,300	100,000	
消耗品費	366,477	460,000	460,000	460,000	320,557	460,000	コピー用紙・トナー他
消耗什器備品費	0	0	0	0	550,000	0	
通信費	463,394	450,000	450,000	450,000	330,698	450,000	電話代・JCプレス送料等
印刷製本費	30,558	30,000	30,000	30,000	30,514	30,000	
賃借料	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	¥85,000×12ヶ月
光熱水料費	344,474	350,000	350,000	350,000	349,648	350,000	
保険料	18,590	19,000	19,000	19,000	18,730	23,000	火災保険
謝礼金	16,500	20,000	20,000	20,000	19,800	21,000	税理士報酬
修理費	54,780	60,000	60,000	50,000	8,800	50,000	
租税公課	34,692	70,000	70,000	70,000	34,672	70,000	印紙代・県民税(¥22,000)
雑費	120,566	100,000	100,000	100,000	70,016	100,000	新聞代・振込手数料・備品等
小計	4,302,169	4,439,000	4,439,000	4,429,000	4,605,141	4,434,000	
③負担金							
JCI会費	88,088	88,088	88,088	86,515	88,660	87,048	¥1,573×56名
日本JC会費	325,000	325,000	325,000	320,000	320,000	315,000	¥45,000+¥5,000×56名
国際協力資金	102,200	102,200	102,200	100,375	100,375	98,550	¥5×365日×56名
近畿地区会費	102,800	102,800	102,800	101,000	101,000	99,220	¥2,000+¥1,800×56名
兵庫ブロック会費	320,000	320,000	320,000	315,000	315,000	310,000	¥40,000+¥5,000×56名
小計	938,088	938,088	938,088	922,890	925,035	909,818	
<b>管理費計</b>	<b>5,240,257</b>	<b>5,377,088</b>	<b>5,377,088</b>	<b>5,351,890</b>	<b>5,530,176</b>	<b>5,343,818</b>	
<b>経常費用計</b>	<b>8,431,972</b>	<b>10,224,088</b>	<b>10,224,088</b>	<b>10,198,890</b>	<b>9,109,017</b>	<b>9,883,318</b>	
当期経常増減額	<b>2,235,928</b>	<b>△ 713,588</b>	<b>△ 1,023,588</b>	<b>△ 1,128,390</b>	<b>872,320</b>	<b>△ 1,062,718</b>	
2.経常外増減の部							
(1)経常外収益							
経常外収益計	0	0	0		0		
(2)経常外費用							
経常外費用計	0	0	0		0		
経常外費用増減額							
一般正味財産増減額	<b>2,235,928</b>	<b>△ 713,588</b>	<b>△ 1,023,588</b>	<b>△ 1,128,390</b>	<b>872,320</b>	<b>△ 1,062,718</b>	
一般正味財産期首残高	9,676,627	9,676,627	9,676,627		8,254,307	0	
一般正味財産期末残高	11,912,555	8,963,039	8,653,039	<b>△ 1,128,390</b>	9,676,627	<b>△ 1,062,718</b>	
Ⅱ正味財産期末残高	11,912,555	8,963,039	8,653,039	<b>△ 1,128,390</b>	9,676,627	<b>△ 1,062,718</b>	



## 2021年度 財産目録

2021年12月31日現在

単位：円

科 目	数 量	金 額	摘 要
現金・預金	計	11,590,831	
現金		0	
淡路信用金庫 本町支店 普通預金		3,833,209	No.0454865
淡路信用金庫 本店営業部 普通預金		2,821,961	No.0300206
淡路信用金庫 本店営業部 普通預金		1,011,263	No.0319813
淡路信用金庫 本店営業部 普通預金		260,053	No.0319821
淡路信用金庫 本店営業部 普通預金		230,143	No.0321012
淡路信用金庫 本町支店 普通預金		3,424,202	No.0749012
淡路信用金庫 本町支店 有価証券		10,000	No.21942

### 財務諸表に対する注記

**1. 重要な会計方針**

(1) 固定資産の減価償却の方法

什器備品・・・旧定率法によっている。

(2) 消費税等の会計処理

税込方式によっている。

**2. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高**

固定資産の取得価格、減価償却累計及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
パーティーション	271,950	269,228	2,722
コピー機	432,000	431,999	1
コピー機	550,000	230,999	319,001
合 計	1,253,950	932,226	321,724





## 2021年度 物 品 目 録

2021年12月31日現在

単位：円

科 目	数 量	金 額	摘 要
物 品			
保管庫・スチール書庫	1 個	75,000	
旗三脚セット	2 セット	20,000	
電話機	2 台	144,200	1995年度購入分
デスクコーナー	1 台	75,190	1996年度購入分
デスク	1 台	95,069	1996年度購入分
デスク	1 台	82,297	1996年度購入分
デスク	1 台	95,790	1996年度購入分
パソコンラック	2 台	16,171	1996年度購入分
チェア	1 脚	28,634	1996年度購入分
チェア	2 脚	43,878	1996年度購入分
チェア	1 脚	20,600	1996年度購入分
パーテーション	1 脚	133,200	1996年度購入分
ウォールロッカー	1 台	37,389	1996年度購入分
両開き保管庫	3 台	81,267	1996年度購入分
引違いガラス保管庫	3 台	100,425	1996年度購入分
深型保管庫	3 台	79,413	1996年度購入分
会議テーブル	2 台	68,392	1996年度購入分
会議椅子	12 脚	97,644	1996年度購入分
ホワイトボード	1 枚	17,325	1996年度購入分
月間予定表	1 枚	15,398	1996年度購入分
月間掲示板	1 枚	31,734	1996年度購入分
トランシバー	7 台		某氏寄贈
ハンドマイク	1 台	20,611	2000年度購入分
国旗	1 旗	7,350	2000年度購入分
会議テーブル	15 台	155,000	2003年度購入分
パイプ椅子	20 脚	29,200	2003年度購入分
ファンヒーター	2 台	51,600	2003年度購入分
玄関表札	1 基	100,000	2003年度卒業生寄贈
ゴングマーク	1 個	10,000	2006年度購入分
卓上旗セット	1 式	7,840	2006年度購入分
JCIプレート	1 基	19,950	2006年度卒業生寄贈
モデム・ルーター	1 式	19,425	2006年度卒業生寄贈
耐火金庫	1 台	81,900	2006年度卒業生寄贈
自立式スクリーン	1 台	84,000	2006年度卒業生寄贈
プロジェクター	1 台	159,500	2007年度卒業生寄贈
タイムレコーダー	1 台	26,800	2008年度購入分
空気清浄機	2 台	60,000	2010年度卒業生寄贈
液晶テレビ	1 台	60,000	2010年度卒業生寄贈
パソコンディスクトップ	1 台	180,000	2010年度購入分
掃除機	1 台	13,440	2010年度購入分
パーテーション	2 台	99,750	2011年度卒業生寄贈
JCI旗	1 枚	20,000	2012年度卒業生寄贈
日の丸旗	1 枚	9,000	2012年度購入分
日の丸旗	1 枚	9,000	2012年度卒業生寄贈
awai旗	1 枚	25,000	2012年度卒業生寄贈
のぼり (淡路IC)	10 枚	29,000	2013年度購入分
FAX	1 台	47,250	2014年度卒業生寄贈
パソコン	1 台	98,280	2014年度卒業生寄贈
プロジェクター	1 台	108,000	2015年度卒業生寄贈
パソコンプリンター	1 台	50,760	2015年度卒業生寄贈
卓上旗セット	1 台	8,364	2016年度購入分
JCI旗	1 枚	28,500	2016年度卒業生寄贈
冷蔵庫	1 台	24,084	2018年度購入分
淡路の未来フォーラムのぼり	10 枚		2018年度某氏寄贈
ポール	10 本		2018年度某氏寄贈
スタッキングチェア	20 脚	172,800	2019年度卒業生寄贈
のぼり (淡路IC)	10 枚	20,000	2019年購入分
のぼり (ともいく事業)	4 枚		2019年購入分
アクリル板	20 枚	110,000	2020年購入分
換気扇・空気清浄機	各 1 台	116,666	2020年購入分
プレジデンシャルリース	1 個	140,000	2020年度卒業生寄贈
プレジデンシャルリースケース	1 個	28,000	2020年度卒業生寄贈
演台	1 台	15,290	2021年度購入分
合 計		3,605,376	

# 17. 監 査 報 告

一般社団法人淡路青年会議所  
代表理事 三浦 義崇 殿

私たち監事は、令和3年1月1日から令和3年12月31日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

## 1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記及びこれらの附属明細書）について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示してしるものと認めます。

令和3年 月 日

一般社団法人淡路青年会議所

監事 印

監事 印

## 18-1. 資料 事業別写真

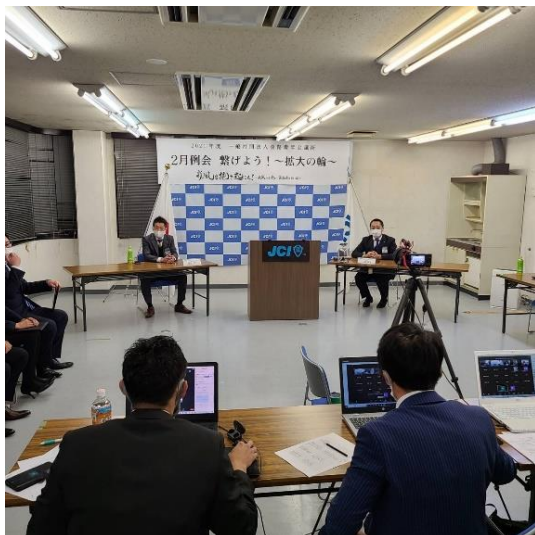
2021年度 新年挨拶 動画配信事業



# 1月例会 未来への言霊 第16回定時総会.



## 2月例会 繋げよう！～拡大の輪～





### 3月例会 多人寄れば文殊の知恵



## LOM 役員懇談会

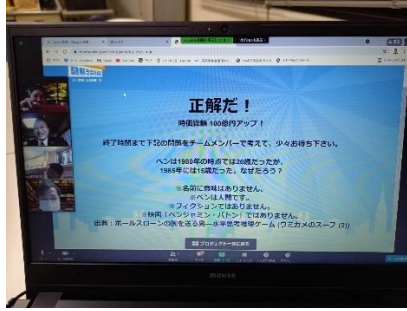


## 4月例会 親睦への架け橋



## 5月例会 To be united

～団結と明確なビジョンで突破口を開こう～



# 6月例会 互いを知るは力となる～Are you Ready?～



## 7月例会 ～共につくる 組織の礎～



絆づくり研修事業 心を一つに～団結の力～

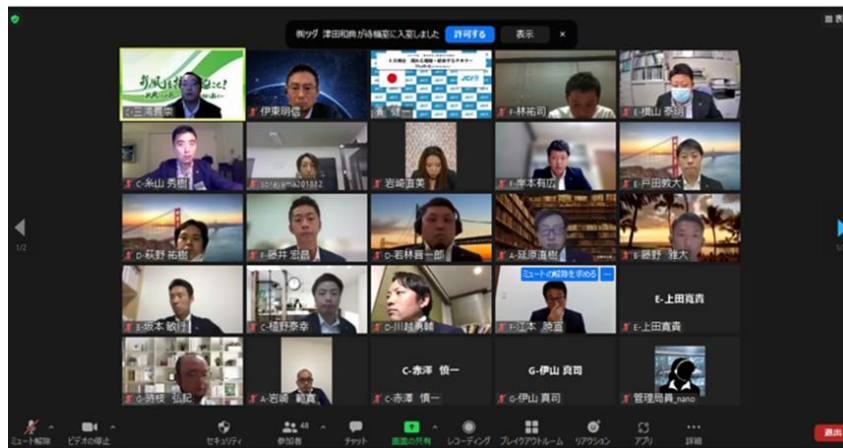


## 8月例会 25年後の自分たちに～





# 9月例会 深める親睦～結束するチカラ～



# 10月例会 新たなる可能性を切り拓け～Let's Do It～



# 11月例会 今昔の感～Yes we did～



12月例会 紡ぐ想い。～新たなる一歩へ～



### 「島1市構想」島民調査

#### 淡路J.C、きょうから

淡路青年会議所（J.C）は5日、「淡路島1市」についての島民アンケートを



6日から始めると発表した。同J.Cは平成3年から「島1市運動」を展開しているといい、今年の南あわじ市長選や淡路市長選、知事選の選挙イヤーに合わせて、島民意識調査の位置づけで実施する。18日まで回答を受け付け、25日に結果を同J.Cホームページ（HP）で公表、後日島内3市長に報告するという。

島民アンケートでは「1市構想を聞いたことがあるか」「1市になるべきか」の質問に「はい」「いいえ」で回答を求める。賛成の人は、1市になる

るタイミングを「できるだけ早く」「5年以内」「10年以内」「それ以上先」から選択してもらう。

「1市になった場合、どんな効果が期待できるか」（複数回答可）では「行政経費の節約化」や「地域活性化」「島のイメージ向上」などの項目から選ぶ。

ほか、「淡路市と洲本市」か「洲本市と南あわじ市」の「2市」を想定した項目も設定している。

一方、1市反対と答えた人には自由記述で理由などの意見を求めている。

同J.Cによると、島1市についての島民アンケートは6年（2回）、7年、30年と過去4回実施。いずれも賛成が反対を上回った。30年の結果を受けて、1市合併に向けた協議会設置を求める要望書を3市に提出したが、いずれも「時期尚早」として実現しなかったという。

6日付新聞各紙の折り込み広告の島民アンケートに回答してファックス（0799・222・6626）するか、同J.CのHPでも受け付ける。同J.Cの三浦義崇理事長は「島民に島1市運動を考えてもらう機会になれば」と話している。

「淡路島1市」について島民アンケートへの回答を呼び掛ける淡路青年会議所の三浦義崇理事長（中央）ら。洲本市

# 島1市構想どう思う？

きょうから住民対象にアンケート

淡路JC 25日に結果公開



島民アンケートへの協力を呼び掛ける  
三浦義崇理事長(中央)ら＝洲本市桑間

淡路島内3市を合併する「淡路島1市」の実現を提唱する淡路青年会議所(淡路JC)は6日から、島民に1市構想への賛否を問うアンケートを始める。18日までで、結果は25日に同JCのホームページで公開する。南あわじ市や淡路市の市長選、県知事選などが続く。今後の同JCの事業計画に反映させる。三浦義崇理事長は「島の未来について考えてもらう機会になれば」と話す。

コロナ禍のため、街頭アンケートは行わず、6日の新聞折り込みで用紙を配布。用紙をファクス(0799・22・6626)するか、用紙に掲載するQRコードや、同JCのホームページからも回答できる。(赤松沙和)

選挙イヤーに、島の将来や「淡路島1市」の構想に関心を持ってもらうと企画。2018年に実施した前回のアンケートでは、回答を寄せた6213人のうち、1市に賛成が41%、反対が34%、分からないが25%だった。

質問は、1市への賛否やそのタイミング、1市誕生を期待できるかどうか、望ましい合併の形など。結果は3市長に報告するとともに、今後の同JCの事業計

<第三種郵便物認可>

## 地域ニュース

# 淡路島1市賛成73%

## JC島民調査 高齢化、過疎化影響か

淡路青年会議所(JC)が実施した「淡路島1市」について尋ねる島民意識調査で、回答者の73%が「1市になるべき」と答えていたことが分かった。平成30年のJC調査では1市に肯定的な回答は41%だったが、「島内で高齢化や過疎化が急速に進み、島民の危機感が強まったのでは」としている。

調査は今年6月18日に実施。まとめによると、「1市」の有効回答数は1092件だった。男女別では男性「はい」は73%、「いいえ」は26%だった。30年調査では「そう思う」と「どちらかといえば思う」の計50・7%を占めた。市「どちらかといえば思う」と「いいえ」は41%、「どちらかといえば思う」と「いいえ」は29・9%。30年調査の回答者は6千人を超えたが、今回はコロナ禍とあって、対面での協力の呼び掛けができたのが大幅減の要因という。

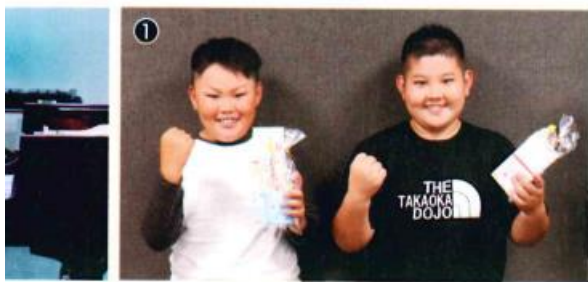
「10年以内」が12%の順。賛成意見は「13万人弱の島人口で市長は1人で十分」「小さい市単位では過疎化は止められない」「高齢化が進み、未来を考えると島が一つになる方がいい」などだった。

一方、反対意見は「3市の個性・特徴がなくなる」「地域格差が広がる」「コミュニティが壊され、市民サービスが低下する」「1市ならもっと悪くなる」など。

合併の形は「1市」が68%、「2市」が17%で、組み合わせは「淡路市と洲本市」が53%、「洲本市と南あわじ市」が47%だった。JCは後日、3市長に調査結果を報告するという。

## 全国大会出場おめでとう

わんぱく相撲



①右

苔口遼真さん（福良小5年）

①左

黒田秋音さん（阿万小4年）

苔口さんと黒田さんは、一昨年の全淡大会におけるそれぞれの学年での成績（ともに優勝）が評価され、淡路市相撲連盟の推薦を受けて、第36回わんぱく相撲全国大会（10月31日・両国国技館）に出場しました。

## 「淡路島1市」7割望む

### JCアンケート 反対「市民サービス低下」

現在の島内3市が一つになる「淡路島1市」構想の是非について、淡路青年会議所（淡路JC）は、島民アンケートの結果をホームページで公表した。回答者の7割が実現を望んでいたという。

「淡路島が1市になるべきだと思うかの問い」には73%、「いいえ」は26%だった。前者のうち、実現時期については「できるだけ早く」とした人が65%、「5年以内」が21%、「10年以内」12%と続く。自由記述欄には、賛否両論で様々な意見があった。推進を望む人らは「島内13万人弱の人口で市長は1人で十分」「1市にして経済を少しでも良くしてほしい」などと書いていた。一方で、現行のままを望む立場からは「コミュニティ

アイが壊され、市民サービスが低下する」「1市にするより、3市の連携をいかに進めるかを考える方がよい」とする。

い」などの声があった。行政の効率向上などを目的に、1市実現を推進する立場の淡路JCは、過去にも4度、同様の調査をしている。今回の結果を洲本、南あわじ、淡路の3市長に近く報告する考えで、「1市に向けて動いてもらえるよう、一緒に考えていく」とする。

2021年(令和3年)1月29日(金曜日)

青島

## 「島1市」訴え ウェブページ

淡路JC

淡路青年会議所（淡路JC）は、島内3市が合併する「淡路島1市」の実現を訴えるウェブページを作った。1市になるメリットと



して、観光戦略や災害対応の一本化、行政経費の削減などを挙げている。

淡路JCは今年1月、1市構想への賛否を聞く島民アンケートを実施。約7割が賛成と回答する一方、疑

問も多く寄せられた。ウェブページでは、「役所が遠くなる」との不安に「現在の役所が支所として残る」などと答えている。

（吉田みなみ）

淡路島1市を訴えるウェブページを作った淡路JCの三浦義崇理事長（左）と延原直樹さん（洲本市本町3

冬期講習 受講生募集  
**学習塾 優**  
優塾.com  
TEL 23-2111



# 2022年度 事業計画書

2022年1月1日～2022年12月31日

一般社団法人淡路青年会議所

一 般 社 団 法 人  
淡 路 青 年 会 議 所

2020年度 スローガン

# 踏み出せ！決意の一步！

～淡路島の未来をつくる挑戦が今、はじまる～



2022 年度 理事長

川越 勇輔

## はじめに —知覚動考(ちかくどうこう)—

私たち青年会議所は、いつ、どのような時代においても社会に対し前向きな変革を起こそうと熱い想いで運動を行ってきました。私たちを取り巻く社会や経済環境は日々目まぐるしいスピードで変化しています。また新型コロナウイルスの蔓延や自然災害など、今まさに様々な課題や問題が私たちに降りかかり、難しい判断をしなければならぬ場面に直面していると言えるでしょう。しかし、私たちは決してその歩みを止めることは許されないのです。「知覚動考」という言葉があります。人が何かを吸収して、成長する行動パターンの1つを説いた言葉です。私たちがいかに学び、知識を得ようともそれだけでは何も変わりません。何事においても思考を深めることは重要ですが、その時間が長ければ長いほど最初の一步を踏み出すためには多大な労力が必要となります。学び、知識を得たならまずは行動に移す。そこから新たな視点や気づきを得て、さらに考えを巡らせることで自分のものとし、人は成長していくのです。このような激動の時代だからこそ、青年経済人として真摯に現実と向き合い、しがらみやこれまでの常識にとらわれることなく様々なことに挑戦してまいりましょう。そしてその行く先には必ず淡路島の輝く未来があるはずです。正しい努力や行動をすれば必ず世の中は変わると信じています。恐れず勇気を出し、メンバー全員で決意の一步を踏み出しましょう。

## 創立 60 周年を迎えるにあたって

「現代の淡路島、将来の淡路島の開発と発展」——59年前に1市10町より集まった志を同じくする40名の青年により立ち上げられた淡路青年会議所 設立趣意書の1節です。単年度制の青年会議所では、組織が毎年刷新され様々な事業が構築されていきます。諸先輩方はこれまで、1年間という限られた時間の中で、淡路島に対し精一杯の情熱を注ぎこみ、地域の成長や発展を積み重ねてまいりました。創立60周年という『節目』を迎える本年は、先輩諸兄のたゆまぬ努力と情熱による足跡を辿り、受け継がれてきた歴史や伝統を強く感じ取ることで、さらなる発展の光を見出す重要な1年であると考えます。

これらの想いを胸に抱き、周年事業では先輩諸兄やこれまで運動に対し賛同してくれた多くの皆様に感謝と敬意の気持ちを表し、その日、その空間にいる参加者全員の心を動かすような事業としてまいりましょう。

## 淡路島一市へ、未来を描く

一昨年から続く新型コロナウイルス感染症を機に、今、地方への関心が高まっています。急速に普及したテレワークにより、地方に居ながらにして都市部と同じように仕事ができるようになり、その上で豊かな自然や住環境を求め、都市部から地方へと人の流れが生み出されました。ここ淡路島においても企業移転や移住者が増加傾向にあります。しかしそれは一過性のものに過ぎません。今後も淡路島はさらに魅力を高め、その存在価値をより広く示していく必要があります。しかしそれには、国生み神話が見直され脚光を浴びたように、淡路島の歴史や伝統・文化などのアイデンティティをより磨きをかけることが重要です。また淡路島の周辺に目を向けると、2025年に開催される日本国際博覧会(大阪・関西万博)やIR(統合型リゾート)構想、紀淡海峡大橋など、今まで以上に淡路島の立地的優位性を活かすべき絶好の機会が訪れます。これらは、三市がそれぞれ独自に取り組むのではなく、淡路島全体としての取り組みが早急に求められていることを表しています。私たちは今ここを、これまで以上に重要な変革の起点と捉え、淡路島の未来に責任を持ち行動していかなければなりません。しかしそれには「淡路島をどうしたいのか」という私たち独自の未来像を示す必要があります。本年度は、これまで以上にしがらみや常識にとらわれない、また青年としての目線をもって希望溢れる淡路島の未来を描いてゆきます。私たちが島民の皆様と共に淡路島一市に向けて更なる歩みを進めるための羅針盤を築きましょう！

## 最高の仲間と共に

近年、全国各地の青年会議所で会員減少と共に挙げられる問題が在籍年数の短期化です。JCI 淡路でもコロナ禍での活動しか知らない世代も存在します。このような状況下での課題は、JCI 淡路がもつ存在意義やその素晴らしさに気づくことなく卒業を迎えることにあると考えます。

これまでの経験上これらは、日々の活動を通じて得られることが多く、積み重ねが必要不可欠です。私たちは月1度の例会、様々な事業だけでなく日々の活動やメンバー同士の交流を通じて青年会議所を深く理解し、魅力を見出していくのです。そのためにも、まずはJC活動の基本である委員会を活性化させたいと思います。思い起こせば、私自身も入会当初はわからないながらも委員会に参加し、活発な議論の場を経験していく中で、いくつもの事業が形づくられる様を目の当たりにしてきました。これらの体験

こそ、今の私の血となり肉となっていることは言うまでもありません。委員会メンバー全員で同じ目的を共有することで、各々が責任感をもって、自ら進んで役割を果たしていく1人ひとりが活きる委員会としましょう。そして、その上で各委員会の連携強化も忘れてはなりません。委員会で作り上げられたどんなに素晴らしい事業も1委員会の奮闘だけでは、よりよい事業とはならないでしょう。各委員会がより綿密に連携すれば、JCI 淡路が行う事業の波及効果はより大きなものとなるはずです。本年は、活動全般を通して出席率向上に努め、関わる機会を大切にしていきたいと思います。私たちの時間は無限ではありません。最高の仲間と共に活動できる限られた時間を大切にしていきたいと思います。

## 想いをつなぐ会員拡大

今、淡路島は大きな変革の時を迎えようとしています。私たちはこれまで以上に未来に向けた続可能な淡路島を強く意識した活動・運動をしなければなりません。そのためにまず必要なことは、私たちの想いに共感して自らや地域の可能性を信じ行動できる、能動的な人財を一人でも多く地域に創出することです。つまりそれは、会員拡大こそがまちづくりの第一歩ということを表しています。だからこそ私たちは多くのメンバーを集い、発展・成長となる機会を共にしていかなければならないのです。

またメンバー数が多ければ多いほど、私たち組織の可能性も増大します。例えば、多くのメンバーが集えば多くの意見が集まり、考え方や価値観の異なるメンバー同士が議論することで、大きな創造力が生み出されます。そうして生み出された運動の発信力や影響力もメンバー数に比例して大きくなることは間違いありません。「数は力」と捉え、会員拡大活動に邁進しましょう。しかしながら、新型コロナウイルスの蔓延により会員拡大活動そのものが難しくなっているのも事実です。これまでの当たり前が当たり前でなくなったニューノーマルと言われる時代の会員拡大活動に必要なことは、私たち自身が青年会議所の価値を強く信じることです。青年会議所のある人生を誇れる活動を行ってまいりましょう。そうすれば、自ずとそれらが言霊や立ち振る舞いとして現れ、想いが届くはずです。メンバー全員で JCI 淡路の価値をより深く認識し、次代に想いをつなぐ会員拡大に取り組んでまいりましょう。

## 戦略的広報の実施

これまでマスメディアの独壇場であった発信手法は多様化し、時代が変化するにつれ、本当に伝えたい情報は自らが発信し如何にして見てもらうかを工夫する時代となりました。私たち JCI 淡路の資源もメンバーの時間も限られています。想いを込めた事業は、最大級の波及効果で実施したいものです。そのために欠かせないものが戦略的な広報の実施です。JCI 淡路という組織や行う事業の魅力之余すところなく伝えるためには、事業報告や告知など全ての情報発信を、どこに焦点を当て、いつ、誰に、何を、どのようにして届けるのかといった戦略性をもって取り組む必要があります。また、私たちが今持っている情報発信ツールの使用目的や対象者を明確にした上で取捨選択を行い、これまでの「当たり前」とらわれない広報の構造改革を行いましょう。

広報活動は最も難しい役割の一つであると同時に、私たちが事業目的を達成する上での必須項目です。1年を通じて、様々な委員会や事業と深く連携し、継続していくことが重要となります。「明るい豊かな淡路島」を実現するためにも、私たちの組織や展開する運動を一人でも多くの方々に届けられるよう戦略的な広報に取り組んで参りましょう。

## 結びに

青年会議所には、品格ある青年であれば職業を問わず誰でも入会できる広い門戸があります。一方、20歳から40歳までという活動の年齢制限もあります。同じ年代の多種多様な人間同士の交流は、それだけで自身の価値観を広げ、多くの気づきに繋がるかもしれません。しかし、それは青年会議所に数多くある魅力の一つにしか過ぎません。「大人の学校」ともいわれる青年会議所にある魅力の多くは、活動を積み重ねることで見出されていくのです。そこには苦しいことも、つらいこともあるでしょう。だからこそその先に、多くの有益な機会が訪れるのです。今一度、自らのアイデンティティを愛しましょう。三信条（「奉仕」「修練」「友情」）という唯一無二の価値観を肌で感じることは、今後の人生を彩るまたとない経験となるはずです。

行動しよう、青年らしく。

荒削りでも、失敗を恐れず果敢に挑戦しよう。

感謝を胸に、メンバー全員で決意の一步を踏み出そう。

英知と勇気と情熱をもって淡路島にムーブメントを起こそう！

「こんな時代」に訪れた創立 60 周年という節目の年だからこそ、果敢に挑戦する 1 年としましょう。青年会議所らしさを余すことなく発揮し、時代に即した手法をもって、信じた道を正々堂々と歩いていきましょう。これまで JCI 淡路を 59 年間受け継いでくれた、すべての方々への感謝を胸に、今を担う私たちだからできる淡路島の未来をつくるための挑戦をしていきましょう。明るい豊かな淡路島をたぐり寄せるのは他の誰でもなく、私たちです。

2022 年 私たちが誰よりも淡路島を愛した証を刻もう！

## 2. 基本方針

- 一、 調査研究に基づく、事業構築の徹底を！
- 一、 どのような機会においても、学びの姿勢をとろう！
- 一、 行動することをためらわず、果敢に挑戦しよう！
- 一、 最高の仲間との関わりの時間を大切にしよう



### 3. 副 理 事 長 抱 負

副理事長 濱 健一 伊山 真司 木戸 隆一郎 横山 泰明



本年度、創立 60 周年を迎えます一般社団法人淡路青年会議所は、「淡路はひとつ」を基本理念に、明るい豊かな地域社会の実現を目指し、社会に前向きな意識をもたらす変革の起点として活動や運動を積み重ね、今日まで基軸ある歴史を刻んできました。JCI 淡路が今後も地域の更なる発展に寄与していくためにも、メンバー一人ひとりが帰属意識を高め、次代へと継承していくことが必要です。

昨今の情勢により、JC 活動においてメンバー同士が対面し関わりを深める機会が減少している中、厳しい変化にも臆することなく、組織が一丸となって活動・運動に取り組んでいくことは重要な課題です。そのためにメンバーの参画意識を醸成し、活力溢れる組織構築に向けた土壌づくりに取り組んでいかなければなりません。まず我々副理事長は、理事長の指し示す方向性や JCI 淡路の存在意義について、三役間でしっかりと意思疎通を行い、理解や認識を深めることで意思統一を図ってまいります。その上で、指導的立場として、これまでの JC 活動で培ってきた経験や学び得た知識を公室長・委員長を通してメンバーへ共有し、JAYCEE としての資質向上を促進いたします。また、我々自身もメンバーの模範となるよう自覚と責任を持ち率先して行動していくことで、JC 活動への参画意識を一層高めてまいります。そして、組織構築においては、委員会を自由闊達な意見の場として求めながらも、事業の方向性が理事長の指針に沿って議論し合えるように指導し、メンバー一丸となり各事業に取り組めるよう、強い決意で導いてまいります。

我々は、節目の年に歴史を再認識する機会をいただき、次代への継承を使命に果たさなければなりません。メンバーが JAYCEE の意識を持ち活動することは組織の活力となり、その姿を次代へ伝播させることが「明るい豊かな淡路島」の実現に繋がると確信いたします。

#### 基本方針

1. 理事長の示す方向性をメンバーへと伝播するための意識共有を徹底します。
2. 帰属意識を高め、JAYCEE としての自覚と責任の醸成に努めます。
3. 活力ある組織づくりを目指し、メンバーの活動を全力でサポートします。

## 4. 専務理事抱負

専務理事 若林 晋一郎



我々一般社団法人淡路青年会議所は創立以来「淡路はひとつ」の基本理念の基、時代を先駆けた活動を様々行ってまいりました。諸先輩方より積み重ねてこられた活動の歴史が、本年度で60周年を迎えます。このような節目の年に、創始からの想いを繋ぎ、先人の方々が作ってこられた歴史に深く感謝すると共に、これから訪れる時代に対応力と適応力を持って柔軟な組織運営を行っていくことが必要です。組織として常に対応力と適応力を持って動いていくには、メンバー一人ひとりの意思を理事長が指し示す方向へと導く必要があります。まずは三役間での情報共有を密に行い意思の疎通を図ることで、各々が与えられた役割に自覚と責任を持ち行動することができます。それがメンバーへ伝播され、組織としての明確な目標を持って行動することで、組織への貢献意欲の増加と共に、団結を持った組織の強化へと繋がられます。その組織力こそが、コロナ禍にもあったような様々な問題に連携を持って対応し、最善の策を講じることのできる適応力を持つことになると考えます。専務理事として、コロナ禍における様々な対応をはじめ、LOM全体の把握に努め、組織内への目配り気配りを徹底しつつ柔軟性を持って動くことで、メンバーにJCI淡路に参加する機会を重要視してもらいます。また同時に各々が真剣に議論する場を整え、各地会員会議所や特別会員、他団体との渉外役として密な連絡・連携を行い、協力関係の構築と共に組織が円滑に動けるように調整を行い、各事業へ活かせるよう「静」と「動」の両面を持って行動してまいります。理事長の掲げる方向性を実現できるよう柔軟性を持って運営を滞りなく行うことで、組織が円滑に機能し活動する基盤となります。そのことが組織としての一体感に繋がり、同じ方向性へ邁進することで「明るい豊かな淡路島」の実現に繋がると確信いたします。

### 基本方針

1. 三役間の連絡を密に行い、理事長の指し示す方向への下支え役を担います
2. メンバー同士が真剣に議論し合える組織運営に努めます
3. 組織運営を円滑にするため柔軟性を持って行動し、組織力向上に寄与します

## 5. 監 事 抱 負

幹事 藤井 宏昌

三浦 義崇



我々一般社団法人淡路青年会議所は、常に時代の先陣を切り、若者らしい活発な行動のもと明るい豊かな淡路島を目指し、活動してまいりました。そして、諸先輩方が築かれた歴史や伝統を受け継ぎ、今年度60周年という節目の年を迎えます。そのような年とはいえコロナ禍の影響はまだ多く、様々な困難に直面することになると予想されます。ウィズコロナを見据えたまちづくりが今こそ必要であり、困難を目の前にしているからこそ我々の活動力が問われています。常に挑戦し、淡路青年会議所が淡路島にとって唯一無二の存在であるよう、メンバーが一丸となり継続した活動をこれからも行っていかなければなりません。そのために、私たちは監事として、これまで培ってきた経験や知識をメンバーへ伝え、理事長の指し示す方向へJCI淡路が進んでいけるようサポートを行い、ともに成長できるよう活動してまいります。そして、理事会構成メンバーとして、乗り越えることでより良い活動、よりよい事業となるための各委員会のハードルとして努力してまいります。一年間を通して高いハードルとなれるよう全うしてまいりたいと思っておりますので、ご理解よろしくお願いたします。

## 6. 公室長・委員長事業計画並びに予算及び役割業務

理事長公室

公室長 伊東 明信

スローガン

ホスピタリティ ～目配り・気配り・心配り～



我々一般社団法人淡路青年会議所は創立当初より「淡路はひとつ」を基本理念とし、様々な活動や運動を行ってきました。先輩諸兄の想いと共に紡いでこられた軌跡が本年度で60年目を迎えます。我々はその軌跡を大切にし、次世代へ繋いでいかなければなりません。そのためには、メンバーの意識共有が大切となります。メンバーと会う時間を大切にし、共に高め合う積極的な発言ができる関係作りの構築に尽力することが必要です。

理事長公室として理事長の秘書的業務・専務理事の補佐を的確に行い、三役関係と各委員長との架け橋となるような働き掛けをいたします。まずは意識共有を図るために、全体のコミュニケーションの向上に力を入れ、メンバーとのふれ合う機会を創出し、現状を把握することで意思疎通の取れた組織運営を致します。また JCI 淡路の事務的業務を担うことに責任を持ち、三役会・理事会が円滑に行えるように事前準備の徹底と資料の確認を密に行い、建設的な議論ができる環境作りに努めます。本年度の事業として「第26回わんぱく相撲淡路場所」では、将来の淡路島を担う子どもたちが、日本の国技と言われる相撲を通じて、礼儀礼節の大切さを学んでもらいます。子どもたちが、土俵に立てる喜びを感じ、切磋琢磨し合うことで友情や思いやりの心が生まれます。その青少年育成の場を設営することこそ未来へつなぐ我々の使命であると考えます。また組織として連携して動いていくことで、入会候補者が我々の活動に興味を持ち参画しやすい状況作りと、今後の活動に意欲的に取り組んでくれるような組織運営を目指し拡大活動にも取り組んでまいります。理事長公室として、三役と委員長の潤滑油として行動し、メンバー間の意識共有を図ります。そのことが意思疎通の取れた組織運営に繋がり、メンバーが同じ意思を持って行動することで「明るい豊かな淡路島」の実現につながると確信いたします。

## 事業計画並びに予算及び役割業務

事業計画	実施月	内容	対象者	予算額
・例会の企画・設営及び運営	7月	7月例会の企画・設営及び運営	正会員 準会員	39,000
・例会の企画・設営及び運営	12月	12月例会の企画・設営及び運営	正会員 準会員	140,000
・会員名簿の作成	2月	会員名簿の発行	正会員 特別会員	350,000
			合計	529,000

役割業務	実施月	業務内容
・例会の企画・設営及び運営（2回）	7・12月	例会の企画・設営及び運営
・例会欠席者へのアテンダンスの案内及びフォロー	通年	
・会員名簿及び名刺の作成	2月	会員名簿の発行
・理事長の秘書的業務及び専務理事の補佐	通年	
・一般庶務事項及び発送文章の管理	通年	
・選挙管理委員会の設置	7月	
・財務に関する処理及びコストダウンの調査	通年	
・年会費・入会金の調査	通年	
・会費の徴収	前・後期	
・渉外業務全般	通年	
・事務局全般にわたる業務及び管理	通年	
・理事会の設営及び議事録の作成	通年	
・三役会の設営	通年	
・通信案内簿及び諸記録の整理	通年	
・会員拡大に関する業務 (関連委員会との連絡調整)	通年	
・公室活動の記録保存	通年	
・全事業への参加協力	通年	
・理事長諮問に関する答申業務	通年	

スローガン

## 淡路島を楽しむ仲間づくり



昨年度はコロナ禍において、JC 活動にも制限があり、例会や様々な会議もウェブで行われたことで、実際に対面してメンバー同士が触れ合う機会が少なくなっていました。しかし、WITH コロナでニューノーマルな活動が必要な本年度は、一般社団法人淡路青年会議所がもつ存在意義や運動の本質を深く理解する機会を増やすために、委員会の活性化を図りメンバーの「横のつながり」を強化し、組織力を高めていくことが必要不可欠です。

当委員会では、新年会の企画・運営、淡路島まつりおどり大会への参加、メンバー同士の交流を図る例会の企画・運営など LOM 内の関わり、繋がりを深める事業を担っています。新年会では、理事長の所信と新体制を来賓の方々や諸先輩方に向けてお披露目し、各委員会と連携しながら一体感のある事業運営に務めます。また、淡路島まつりおどり大会や例会においては、ただ参加するのではなく、メンバー全員で楽しむことを大前提に交流活動を進めていきます。事業を通して関わる機会を増やすことで、メンバー同士が触れ合い、意見を交換し、お互いを知ることが組織の活性化に必要だと考えています。お互いを知れば連携に繋がり、一緒に試練を乗り越えることで絆がより強固なものとなります。1 つの委員会の中だけでなく、多くの交流の場によってメンバー全員が JCI 淡路のもつ存在意義や運動の本質を知る機会をつくり、各々が責任感をもって自ら進んで組織のために行動できるような LOM 内の連携を図っていきます。活発な LOM 連携により活気ある JCI 淡路の活動を島民に知ってもらうことで、会員拡大にも繋げていきます。

当委員会では、メンバーの参画意識の向上に繋がる企画を考え、魅力的な事業を展開し、最高の仲間と共に活動する創立 60 周年にふさわしい JCI 淡路を目指します。それが「明るい豊かな淡路島」の実現に繋がるものと確信いたします。

## 事業計画並びに予算及び役割業務

事業計画	実施	内容	対象者	予算額 (円)
・新年会の企画・設 営及び運営	1月	新年会の企画・設営及び運営	正会員・特別会員・ 来賓・他 LOM	553,400
				23,500
・例会の企画・設 営及び運営	2月	例会の企画・設営及び運営	正会員・準会員	77,600
・LOM 役員懇親会の企 画・設営及び運営	3月	LOM 役員懇親会の企画・設 営及び運営	兵庫ブロック協議 会役員団・正会員	166,000
・淡路島まつりおど り大会	8月	淡路島まつりおどり大会の企 画・設営及び運営	正会員・特別会員・ 来賓・他 LOM	23,500
				23,500
・例会の企画・設 営及び運営	8月	例会の企画・設営及び運営	正会員 準会員	
・例会の企画・設 営及び運営	11 月	例会の企画・設営及び運営	正会員 準会員	
			合計	867,500

役割業務	実施月	業務内容
・新年会の企画・設 営及び運営	1月	新年会の企画・設営及び運営
	2・8・11	例会の企画・設営及び運営
・例会の企画・設 営及び運営 (3回)	3月	LOM 役員懇親会の企画・設 営及び運営
・LOM 役員懇親会の企 画・設営及び運営	8月	淡路島まつりおどり大会の企画・設 営及び運営

<ul style="list-style-type: none"> <li>・淡路島まつりおどり 大会の企画・設営及び 運営</li> <li>・公的出向の際の LOM ナイト企画・設営</li> <li>・例会欠席者へのアテ ンダンス の案内及びフォロー</li> <li>・例会の設営及び補助 業務</li> <li>・例会・事業の出席率 向上における業務</li> <li>・60周年事業に関す る業務（関連委員会 との連絡調整）</li> <li>・会員拡大に関する業 務（関連委員会との 連絡調整）</li> <li>・委員会活動の記録保 存</li> <li>・全事業への参加協力</li> <li>・理事長諮問に関する 答申業務</li> </ul>	<p>通年</p> <p>通年</p> <p>3・9・12</p> <p>通年</p> <p>通年</p> <p>通年</p> <p>通年</p> <p>通年</p> <p>通年</p>	<p>LOM ナイトの設営</p>
---	---	-------------------



総務広報委員会

委員長 藤野 雅大

スローガン

## 伝承～繋ぐきずな～



一般社団法人淡路青年会議所は創立当初より受け継がれてきた、「淡路はひとつ」の基本理念を掲げ活動してきました。そして諸先輩方の様々な創意工夫が積み重なり JCI 淡路はこの度、創立 60 周年を迎えることになりました。受け継がれてきた歴史を次世代に繋いでいくためには、JCI 淡路の魅力や志をより多くの方に発信し、共感を得ることが必要不可欠です。当委員会は、JCI 淡路と社会を繋ぐ役割であると位置づけております。我々の活動や事業内容を、最大級の波及効果をもって発信することで、JCI 淡路の魅力を多くの方へ伝播することができます。また地域社会や JCI 淡路のメンバー、諸先輩方、そして他 LOM の皆様にも認知していただき、ご理解いただけることが、さらなる信頼と活力に繋がると考えております。そのために総務広報委員会として、近年の情報化社会において、日々情報やニュースが更新されていく中で、ホームページや SNS を最大限に活用し、淡路島民の皆様を始め、他 LOM や行政に JCI 淡路の取り組みをわかりやすくお届けできるよう戦略的に取り組んでいくことが重要だと考えます。さらには、人と地域が繋がることを心掛け、メンバーの活動や JCI 淡路の魅力を発信することで、JCI 淡路の存在意義や価値に共感していただける新たなメンバーの拡大にも繋がるよう努めてまいります。広報誌の発行では諸先輩方やメンバー間との懸け橋となるように、活動内容をお届けする構成に努めてまいります。また、例会では、お世話になった卒業生に感謝の気持ちを伝え、想いを引き継いでいく場となるように尽力いたします。JCI 淡路の活動の中で、メンバーが光輝いている姿を伝えていくことで、地域への信頼と活力の波動を起こし、人と地域とのつながりが強い組織となり、「明るい豊かな淡路島」の実現に繋がると確信いたします。

## 事業計画並びに予算及び役割業務

事業計画	実施月	内容	対象者	予算額 (円)
・ 例会企画・設営及び運営	12 月	例会の企画・設営及び運営	正会員 準会員	131,000
・ 対内広報誌の発行	通年	年間 4 回	正会員 準会員 特別会員	120,000
・ ホームページの管理・運営	通年			226,000
・ SNS の管理・運営	通年			
・ 2022 年度総合資料の作成	1 月	PDF データ及び CDR	正会員	1,200
			合計	360,300

役割業務	実施月	業務内容
・ 例会の企画・設営及び運営	12 月	例会の企画・設営及び運営
・ 例会欠席者へのアテンダンスの案内及びフォロー	通年	
・ 例会の設営及び補助業務	11 月	年間 4 回発行
・ 対内広報誌の発行	通年	
・ ホームページの管理・運営	通年	
・ 戦略的な SNS の管理・運用	通年	
・ デジタルデータによる活動記録の保存	通年	
・ 2021 年度総合資料の作成	1 月	PDF データ及び CDR
・ 褒賞に関する報告書作成及び褒賞委員会企画設営及び運営	通年 1・8・12	
・ 総会の設営及び運営、総会資料及び議事録の作成	通年	
・ 会員拡大に関する業務（関連委員会との連絡調整）	通年	
・ 委員会活動の記録保存	通年	
・ 全事業への参加協力	通年	
・ 理事長諮問に関する答申業務		

## 会員拡大委員会

委員長 高田 祥平

スローガン

一心



我々一般社団法人淡路青年会議所が創立 60 周年を迎えるにあたり、節目となるこの 1 年は、これまで諸先輩方が紡いできた歴史を感じ取り、新たな時代へと踏み出す重要な 1 年になると考えます。歴史や伝統を組織として絶やすことなく継続していくためには、今一度 JCI 淡路の存在意義や価値をより深く認識し、メンバー全員で会員拡大に取り組み、新しい歴史を築いていく必要があります。

当委員会では、会員数の現状と未来をメンバーで共有しながら、会員数の増加の実現に加え、新たな時代に向け、特に女性や若手等、会員の幅を意識した拡大活動を行って参ります。そのためには、現役メンバーを始め、特別会員の皆様との連携をより強固にしていく必要があります。それぞれの人脈を活かして数珠繋ぎをすることで、更なる協力体制を構築していきます。そしてそこから得た情報を整理し、組織として共有することで、メンバー全員で拡大活動に取り組める態勢を作っていきます。また例会においても、メンバー一人ひとりの拡大意識を刺激し、高めていくことを目指します。そこで生まれる新たな交流と発見を大切にすることで、さらなる拡大活動へと昇華させていきます。また候補者の方々や新入会員に対しても、適材適所でメンバーに協力を要請できる関係性作りに努め、組織に馴染めるよう、メンバー全員でサポートしていきます。常に寄り添い、共有し、支え合い、共に活動していく事で、様々な角度から JCI 淡路を感じ、共に学び共に成長できるように、メンバー全員で前進してまいります。

「数は力」であります。加えて、多種多様な人材を集め、自らや地域の可能性を信じ行動できる能動的な人材を一人でも多く輩出することで、「明るい豊かな淡路島」の実現に繋がると確信いたします。

## 事業計画並びに予算及び役割業務（案）

事業計画	実施月	内容	対象者	予算額（円）
・例会企画・設営及び運営	3月	例会の企画・設営及び運営	正会員 準会員	39,500
・例会企画・設営及び運営	6月	例会の企画・設営及び運営	正会員 準会員	80,800
・例会企画・設営及び運営	9月	例会の企画・設営及び運営	正会員 準会員	23,500
			合計	143,800

役割業務	実施月	業務内容
・会員拡大に関する統括業務 (各委員会・公室との連絡調整)	通年	例会の企画・設営及び運営
・会員拡大に関する諸業務	通年	
・例会の企画・設営及び運営	3・6・9	
・例会欠席者へのアテンダンスの案内及びフォロー	通年	
・例会の設営及び補助業務	4・7・10	
・60周年事業に関する業務 (関連委員会との連絡調整)	通年	
・委員会活動の記録保存	通年	
・全事業への参加協力	通年	
・理事長諮問に関する答申業務	通年	

淡路島一市推進委員会

委員長 戸田 敦大

スローガン

## 情意投合～淡路島の未来へ～



2012年より我が国は人口減少社会に突入しています。そして、地方部においてその減少する速度は都市部よりも早く、生産年齢人口の減少、老年人口の増加に伴い、持続的な発展が益々困難になってきています。しかし、淡路島には独自の文化や歴史、立地条件等、他の地方部には無い強みや魅力があり、まだまだ発展の余地はあります。それらを活かすためには三市それぞれが個別に行うのではなく、淡路島全体で取り組む必要があります。

三市体制となって15年が経ちましたが、人口減少社会において三市が共通して抱える課題の解決には至っておらず、現状のままでは発展はおろか衰退しかないのは明らかです。他方、新型コロナウイルス感染症の拡大により生活様式が急速に変化し時間や場所の制約を受けにくくなった結果、人・モノ・金といった資源が地方へ流れる動きが出てきています。その結果、従来とは違う視点からも淡路島に対する注目度は上がっています。今後、さらなる魅力の発信や淡路島の持つ潜在的な強みの創出や現状の様々な課題を解決するためにも「淡路島一市」の実現は必要不可欠です。一般社団法人淡路青年会議所では創立60年来「淡路はひとつ」の基本理念の基、様々な活動を続けて参りました。その結果、一市に対する機運は年々強くなってきていますが、一市に否定的な方々がいるのも事実です。そういった方々をも捲き込んで、淡路島に住む人々の自発的な考えや働きかけが無ければ実現しえません。そのためにも、一市だからこそできること、メリットを淡路島に住む人々に広く理解してもらい、将来に対するビジョンを共有する必要があります。

淡路島の持続的な発展の実現には「淡路島一市」が必要不可欠であることを、JCI 淡路のメンバー一人ひとりと淡路島に住む全ての人とが共通の認識として持つことで、「明るい豊かな淡路島」の実現に繋がると確信いたします。

## 事業計画並びに予算及び役割業務（案）

事業計画	実施月	内容	対象者	予算額（円）
・淡路島一市推進事業の企画・設営及び運営	6月	淡路島一市推進事業	正会員 準会員 特別会員 淡路島島民	1,120,000
・例会の企画・設営及び運営	10月	10月例会の企画・設営及び運営	正会員 準会員	23,500
			合計	1,143,500

役割業務	実施月	業務内容
・淡路島一市推進事業の企画・設営及び運営	6月	淡路島一市推進事業
・例会の企画・設営及び運営	10月	例会の企画・設営及び運営
・例会欠席者へのアテンダンスの案内及びフォロー	通年	
・例会の設営及び補助業務	11月	
・60周年事業に関する業務(関連委員会との連絡調整)	通年	
・会員拡大に関する業務(関連委員会との連絡調整)	通年	
・委員会活動の記録保存	通年	
・全事業への参加協力	通年	
・理事長諮問に関する答申業務	通年	

60周年特別委員会

委員長 津田 和典

スローガン

## 感恩報謝～今できる最大限の想いで～



一般社団法人淡路青年会議所は、創立以来「淡路はひとつ」を基本理念として「明るい豊かな淡路島」の実現に向けた活動を続けてまいりました。本年度 JCI 淡路が創立 60 周年を迎えることが出来たのも、先輩諸兄がこれまで築いてこられた歴史をはじめ、行政関係、各種団体、各地青年会議所や島民の皆様のご支援やご協力があったからこそであり、60 周年という節目の年に改めて感謝の心を皆様へお伝えする必要があります。

60 周年特別委員会は 60 周年記念事業を企画し、メンバー全員が想いをひとつに活力溢れる組織の姿をご参加いただきます方々に魅せていくことを目的に、60 周年記念事業実行委員会を立ち上げます。実行委員会では想いや方向性の統一化を図り、各委員会の役割を適切に明示することにより、メンバー全員の考えや意見が実行委員会を通じ、事業に反映していける環境を創出することができ、また全員が主体性を持った形で 60 周年記念事業へ向かっていくことができます。それに加え、JCI 淡路として、59 年間の淡路島の歴史や先輩諸兄が紡いできた想い、築いてくださった基盤をメンバーと共にしっかりと共有することで、組織一丸となって次代への一步を踏み出し、その想いや姿を先輩諸兄やこれまでの我々の運動に対し賛同してくれた皆様へと伝えてまいります。そして、これらを実現するためにも当委員会が 60 周年記念事業に向けて常に先駆けて行動することは元より、各委員会と積極的な関わりを持ち、信頼関係の構築に努め、JCI 淡路として団結することを目指します。

このようにお世話になっております皆様へしっかりと感謝を伝える 60 周年記念事業を実施することで、JCI 淡路のメンバーが一致団結し、未来へと想いをつないでいくことが「明るい豊かな淡路島」の実現に繋がるものと確信いたします。

## 事業計画並びに予算及び役割業務（案）

事業計画	実施月	内容	対象者	予算額（円）
・ 60 周年記念事業実行委員会	6 月		正会員 特別会員 来賓他	2,900,000
・ 4 月 合同例会	4 月	例会の企画・設営及び運 営	正会員 準会員 特別会員	82,000
・ 5 月 例会	5 月	例会の企画・設営及び運 営	正会員 準会員	23,500
			合計	3,005,500

役割業務	実施月	業務内容
・ 60 周年記念事業に関する企画・ 設営及び運営	6 月	
・ 例会の企画・設営及び運営	4・5 月	
・ 例会欠席者へのアテンダンスの 案内及びフォロー	通年	
・ 例会の設営及び補助業務	6 月	
・ 会員拡大に関する業務（関連委 員会との連絡調整）	通年	
・ 委員会活動の記録保存	通年	
・ 全事業への参加協力	通年	
・ 理事長諮問に関する答申業務	通年	
・ ゴルフ同好会・卒業コンペの開 催	通年	



## 7. 出 向 者 抱 負

公益社団法人 日本青年会議所  
規則審査会議

小幹事 三浦 義崇



所規則審査会議へ小幹事として出向させていただくことになりました。役職としては、本会の議案をチェックするだけでなく、青年会議所における規則を作る会議体でもあります。また、規則審査会議には多くの知り合いがおりますので、楽しく出向活動をさせていただくと共に、学んだ知識を LOM へフィードバックできるように頑張っております。どうぞよろしくお願いいたします。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会  
地区課題解決モデル構築会議

議員 木戸隆一郎



本年度、新たに新設された地域課題解決モデル構築会議に出向させて頂くことになりました。DX を利用した地域課題解決モデルを策定する業務と産官学が連携した事業構築を推進する業務を担います。少しでも多く学び、LOM で活かしていきたいと思っております。よろしくお願い申し上げます。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会  
兵庫の未来創造委員会

委員 植野 泰幸



兵庫ブロック協議会兵庫の未来創造委員会に出向させていただくことになりました。役割としては、会員会議所理事長と兵庫県知事との懇談会の実施と少年少女サッカーJC カップ兵庫大会開催などを担っております。出向させていただけることに感謝し、委員会に積極的に関わることで LOM に1つでも多くのことを持ち帰って参りたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会  
兵庫の魅力発信委員会

委員 堀部 泰博



本年度、兵庫の魅力発信委員会に出向させて頂くことになりました。本委員会は JC 運動を地域の方々に発信し、広く周知に努め、また兵庫の魅力を発信する事業が担いとなっております。委員会活動の中で広報手法などを学び経験し、LOM に還元できるように1年間精一杯努めて参りますので、宜しくお願い致します。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会  
LOM 支援委員会

委員 中山 貴子



本年度兵庫ブロック協議会 LOM 支援委員会へ出向させて頂く事になりました。今回の委員会に参加し他の方々と関わり多く学び、委員会で得た事を今後の活動に活かしていけるように1年間精一杯頑張る参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会  
LOM 支援委員会

委員 原 亜里沙



本年度、兵庫ブロック協議会 LOM 支援委員会に出向させて頂くことになりました。

昨年入会したばかりで未熟ではありますが、委員会に積極的に参加し、貢献できるよう努めますので宜しくお願い申し上げます。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会  
ブロック大会委員会

委員 平松 奈津紀



本年度、ブロック大会運営委員会に出向させて頂くことになりました。55 回目を迎える伝統あるブロック大会は本年、明石の地にて開催されます。県内各地青年会議所はもとより県民が集う最高の大会にすべく精一杯頑張ってまいります。よろしく願い申し上げます。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会  
財務規則審査会議委員会

議員 濱 健一



本年度、兵庫ブロック協議会財務規則審査会議に出向させて頂いていただくことになりました。

会の内容としましては、兵庫ブロックの各議長委員長が上程した議案の財務・コンプライアンスのチェックを行うことがメインの担いです。この重要な役割を肝に銘じて活動し、少しでも得たものを LOM に持ち帰れるように 1 年間頑張ってまいりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

## 8. 正味財産増減予算

自 2022 年 1 月 1 日

至 2022 年 12 月 31 日

単位：円

科 目	修正予算額	予算額	決算額	予算額	備考
	R4.1.1~R4.12.31 (12ヶ月分)	R4.1.1~R4.12.31 (12ヶ月分)	R3.1.1~R3.12.31 (12ヶ月分)	R3.1.1~R3.12.31 (12ヶ月分)	
I 一般正味財産増減の部					
1.経常増減の部					
(1)経常収益					
①受取入会金	0	0	250,000	0	
②受取会費	7,880,000	7,880,000	9,390,000	9,070,000	
正会員受取会費	7,520,000	7,520,000	9,120,000	8,800,000	47名×¥160,000
その他受取会費	360,000	360,000	270,000	270,000	卒業生12名×¥30,000
③事業収益	0	0	0	0	
受託事業収益	0	0	0	0	
登録料	0	0	0	0	
その他事業収益	0	0	0	0	
④受取負担金	0	0	0	0	
⑤寄付金	0	0	1,020,000	0	
⑥雑収益	500	500	7,900	500	
受取利息	500	500	92	500	
配当金	0	0	400	0	
雑収益	0	0	7,408	0	
経常収益計	<b>7,880,500</b>	<b>7,880,500</b>	<b>10,667,900</b>	<b>9,070,500</b>	
(2)経常費用					
①事業費					
給料手当			0		
福利厚生費			0		
会議費 賃借料	747,739	747,739	195,950	1,078,295	
消耗品費	993,144	993,144	161,358	286,256	
レンタル料	0	0	255,000	0	
食糧費	315,000	315,000	5,760	18,000	
人件費	0	0	0	0	
支払手数料	190,000	190,000	200,000	30,000	
講師関係費	353,300	353,300	6,800	433,300	
謝礼金	520,000	520,000	80,000	540,000	
資料作成費	692,675	692,675	1,015,985	545,485	
広告普及費	869,500	869,500	97,366	601,000	
報告書作成費	1,100	1,100	794,200	790,990	
旅費交通費	0	0	0	0	
交際費	0	0	0	0	
保険料	40,000	40,000	10,000	25,000	
印刷製本費	1,198,700	1,198,700	347,886	347,886	
通信運搬費	243,772	243,772	19,650	31,288	
支払負担金	16,000	16,000	0	10,000	
雑費	62,070	62,070	1,760	109,500	
事業費計	<b>6,243,000</b>	<b>6,243,000</b>	<b>3,191,715</b>	<b>4,847,000</b>	

科 目	修正予算額	予算額	決算額	予算額	備考
	R4.1.1~R4.12.31 (12ヶ月分)	R4.1.1~R4.12.31 (12ヶ月分)	R3.1.1~R3.12.31 (12ヶ月分)	R3.1.1~R3.12.31 (12ヶ月分)	
②管理費					
会議費	24,000	24,000	5,500	0	
給料手当	1,030,000	1,030,000	1,049,546	980,000	
退職給付引当金	0	0		0	
福利厚生費	150,000	150,000	127,583	150,000	交通費・雇用保険料
渉外費	300,000	300,000	178,377	300,000	各種登録・褒賞¥60,000
慶弔費	100,000	100,000	26,500	150,000	
減価償却費	100,000	100,000	264,632	100,000	
消耗品費	460,000	460,000	366,477	460,000	コピー用紙・トナー他
消耗什器備品費	0	0	0	0	
通信費	450,000	450,000	463,394	450,000	電話代・対内広報誌送料等
印刷製本費	30,000	30,000	30,558	30,000	
賃借料	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	¥100,000×12ヶ月
光熱水料費	380,000	380,000	344,474	350,000	
保険料	19,000	19,000	18,590	19,000	火災保険
謝礼金	20,000	20,000	16,500	20,000	税理士報酬
修理費	50,000	50,000	54,780	50,000	
租税公課	40,000	40,000	34,692	70,000	印紙代・県民税(¥22,000)
雑費	100,000	100,000	120,566	100,000	振込手数料・備品等
小計	4,453,000	4,453,000	4,302,169	4,429,000	
③負担金					
JCI会費	78,208	78,208	88,088	86,515	¥1,664×47名
日本JC会費	265,000	265,000	325,000	320,000	¥30,000+¥5,000×47名
国際協力資金	85,775	85,775	102,200	100,375	¥5×365日×47名
近畿地区会費	86,600	86,600	102,800	101,000	¥2,000+¥1,800×47名
兵庫ブロック会費	275,000	275,000	320,000	315,000	¥40,000+¥5,000×47名
小計	790,583	790,583	938,088	922,890	
<b>管理費計</b>	<b>5,243,583</b>	<b>5,243,583</b>	<b>5,240,257</b>	<b>5,351,890</b>	
<b>経常費用計</b>	<b>11,486,583</b>	<b>11,486,583</b>	<b>8,431,972</b>	<b>10,198,890</b>	
当期経常増減額	<b>△ 3,606,083</b>	<b>△ 3,606,083</b>	<b>2,235,928</b>	<b>△ 1,128,390</b>	
2.経常外増減の部					
(1)経常外収益					
経常外収益計	0		0		
(2)経常外費用					
経常外費用計	0		0		
経常外費用増減額					
一般正味財産増減額	<b>△ 3,606,083</b>	<b>△ 3,606,083</b>	<b>2,235,928</b>	<b>△ 1,128,390</b>	
一般正味財産期首残高	11,912,555		9,676,627	0	
一般正味財産期末残高	8,306,472	<b>△ 3,606,083</b>	11,912,555	<b>△ 1,128,390</b>	
II 正味財産期末残高	8,306,472	<b>△ 3,606,083</b>	11,912,555	<b>△ 1,128,390</b>	

## 9. 役員名簿

【理事長】	川越 勇輔
【直前理事長兼監事】	三浦 義崇
【監事】	藤井 宏昌
【副理事長】	濱 健一 伊山 真司 木戸 隆一郎 横山 泰明
【専務理事】	若林 晋一郎
【出向理事】	植野 泰幸
【出向理事】	平松 奈津紀
【理事】	伊東 明信 大継 康高 藤野 雅大 高田 祥平 戸田 敦大 津田 和典

## 10. 出向者一覧

### 【公益社団法人日本青年会議所】

規則審査会議

三浦 義崇

### 【公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会】

地域課題解決モデル構築会議

木戸 隆一郎

兵庫の未来創造委員会

植野 泰幸

LOM 支援委員会

中山 貴子

原 亜里沙

兵庫の魅力発信委員会

堀部 泰博

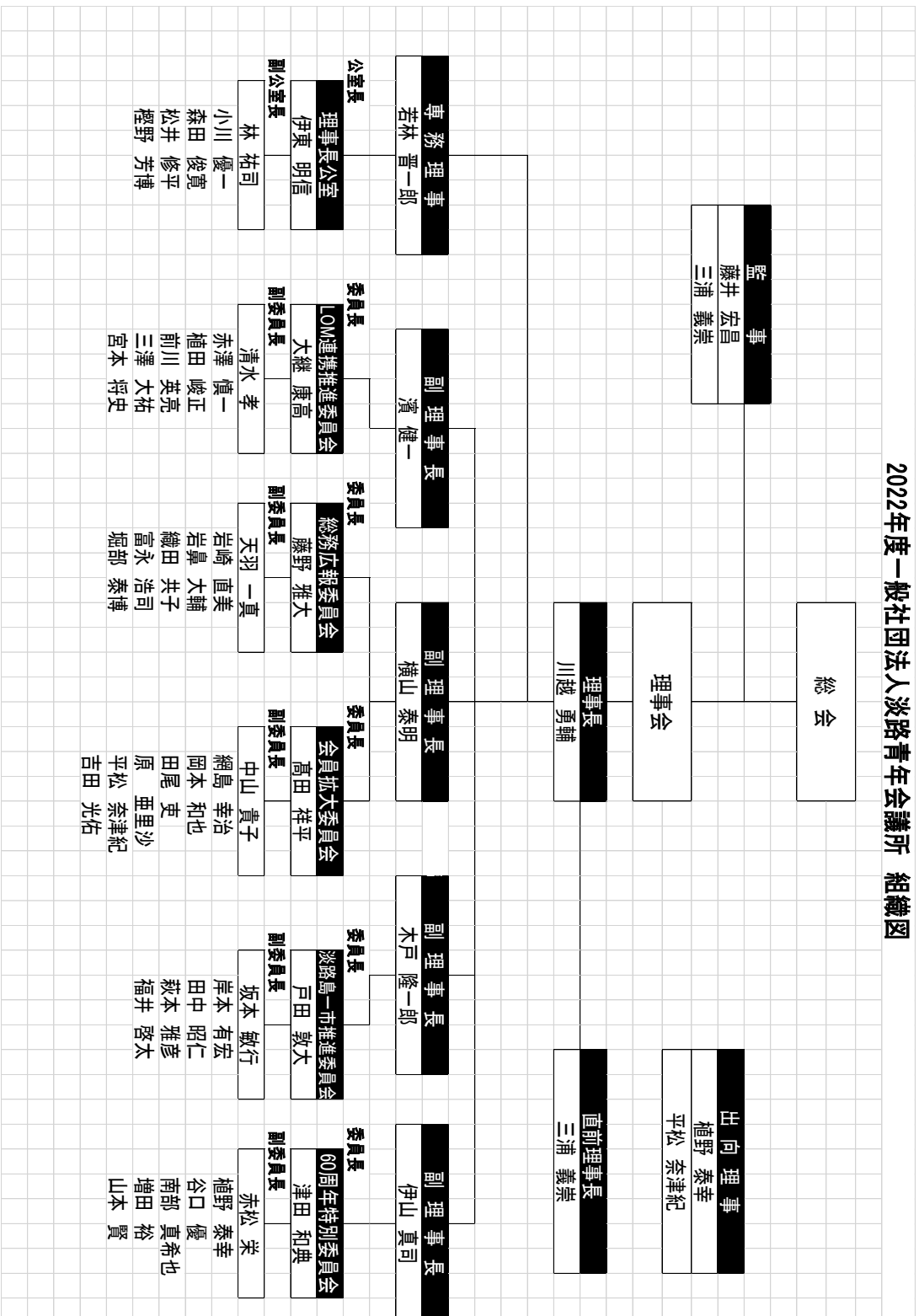
ブロック大会運営委員会

平松 奈津紀

財政規則審査会議

濱 健一

2022年度一般社団法人淡路青年会議所 組織図



11. 組織図及び委員会構成



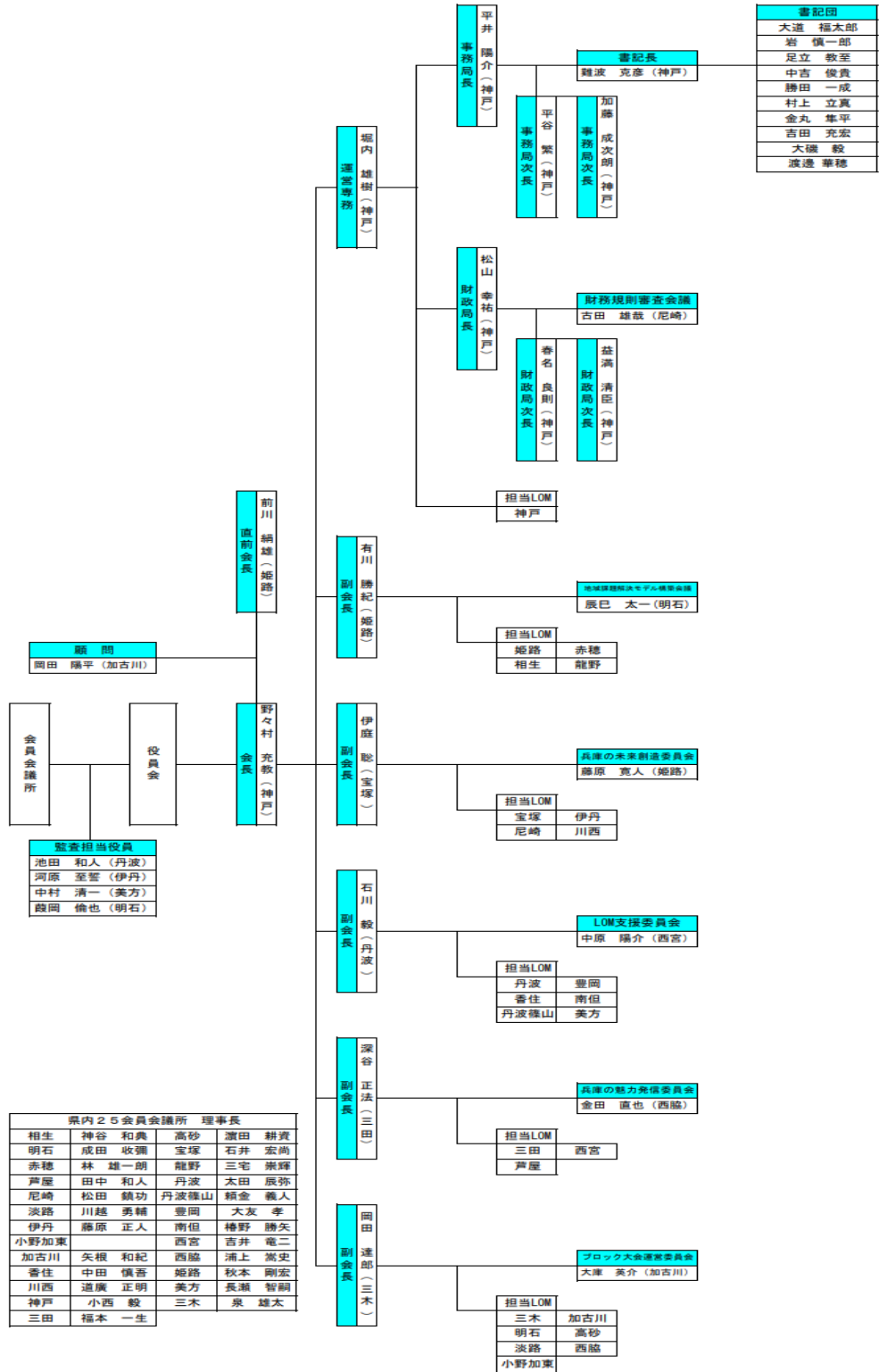
# 12. 年間スケジュール

2022年度 年間スケジュール(案)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
例 会	12日(水) 11月例会 18:30~20:30	9日(水) 2月例会 18:30~21:00	9日(水) 3月例会 18:30~21:00	13日(水) 4月例会 18:30~20:00	11日(水) 5月例会 18:30~21:00	9日(水) 6月例会 18:30~21:00	13日(水) 7月例会 18:30~20:00	10日(水) 8月例会 18:30~20:30	14日(水) 9月例会 18:30~21:00	12日(水) 10月例会 18:30~21:00	9日(水) 11月例会 18:30~21:00	14日(水) 12月例会 17:30~20:00	第19回定例総会 淡路島 豊満幹
総 会	12日(水) 第18回定例総会							10日(水) 第17回定例総会				14日(水) 第19回定例総会	
理 事 会	5日(水) 17:30~19:30	2日(水) 19:00~21:30	2日(水) 19:00~21:30	6日(水) 19:00~21:30	6日(金) 19:00~21:30	1日(水) 18:00~21:30	6日(水) 19:00~21:30	3日(水) 18:00~21:30	7日(水) 19:00~21:30	5日(水) 19:00~21:30	2日(水) 19:00~21:30	7日(水) 19:00~21:30	
三 役 会	24日(月) 役員会議	21日(月)	20日(月)	28日(月)	22日(月)	27日(月)	25日(月)	29日(月)	28日(月)	24日(月)	28日(月)	20日(月)	
日本青年会議所	20日(水)~23日(日)						19日(土)~21日(日)			17日(金)~19日(日)			
JCI関係					28日(水)~29日(日)						1日(月)~1日(金)		
近畿 地区 地区事業	21日(金) 京都						2日(土)~3日(日)					22日(日) 東大阪	
兵 庫 市 会 員 会 議 所 委 員 会	11日(金)神戸	12日(土)豊芳	9日(土)WEB	9日(土)WEB	11日(水)三木	25日(水)三木	9日(土)淡路			1日(土)WEB	23日(水)神戸		
正 副 委 員 会 議 員	12日(水)・24日(水)WEB	9日(水)・22日(火)WEB	9日(水)・23日(水)WEB	6日(水)・20日(水)WEB	11日(水)・24日(火)WEB	8日(水)・22日(水)WEB	6日(水)・20日(水)WEB	3日(水)・17日(水)WEB	7日(水)・21日(水)WEB	5日(水)・19日(水)WEB	2日(水)・16日(水)WEB		
会 員 会 議 員 会 議	1日(金)神戸	1日(火)姫路	3日(水)宝塚・3日(水)丹波	28日(水)三田	25日(水)三木	26日(火)伊丹		1日(月)明石	9日(金)加古川	2日(金)尼崎	11日(金)西宮	9日(金)西宮	
JCI役員懇話会													
その他事業		北方道士の日 竹島の日		JCI開祖 40周年(24日)		JCI淡路 55周年(6/5日) JCI芦屋 50周年(6/11日) JCI川西 55周年(6/18日) JCI淡路 40周年(6/26日)		フロンティア(明石) 20日(土)・2日(日)					
兵庫77の内の 各地周年記念式典													
理事長公室	1月例会	委員名單作成			第12回JCI大会開催議案		7月例会						
LOM連携推進	新年会	2月例会	LOM役員懇話会								11月例会		
総務広報	第18回定例総会 対内広報誌発行 ホームページ管理・運営 経営資料作成							第17回定例総会				12月例会 第19回定例総会	
委員拡大			3月例会			6月例会			9月例会				
淡路島一市推進						淡路島一市推進事業							
60周年特別				4月例会	5月例会	60周年記念式典・祝賀会							

各 委 員 会 事 業 計 画

# 13. 日本 JC 近畿地区兵庫ブロック協議会組織図





**Awaji Island**